

平成27年度（上半期）河川レンジャー活動報告

平成27年11月

福島管内河川レンジャー

池宮 實（4期生）
西岡 和昭（6期生）
村瀬りい子（7期生）
亀井 伸幸（9期生）

毛馬管内河川レンジャー

三輪 栄子（3期生）
石山 郁慧（5期生）
新里 嘉孝（6期生）

河川レンジャーアドバイザー 辻川 松子
（グループ河川レンジャー責任者）

目次

○池宮河川レンジャー（上半期）活動報告

1. 平成27年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	1
2. 淀川探訪ウォーク	・平成27年4月2日(木) 4
3. 十三小学校干潟体験	・平成27年6月15日(月) 7
4. 淀川の生き物パネル展示	・平成27年8月21日(金) 9
5. 淀川の歴史を学び水害に強い街づくり	・平成27年9月4日(金) 12
6. 神埼川防災見学	・平成27年10月15日(木) 14

○西岡河川レンジャー（上半期）活動報告

7. 平成27年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	16
8. 木川南小学校 干潟探検	・平成27年5月19日(火) 18
9. 帰宅困難者歩行訓練	・平成27年9月4日(金) 20

○村瀬河川レンジャー（上半期）活動報告

10. 平成27年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	23
11. 西淀川水辺の楽校②	・平成27年5月30日(土) 25
12. 西淀川水辺の楽校③	・平成27年6月24日(水) 28
13. 西淀川水辺の楽校④	・平成27年7月25日(土) 30
14. 西淀川水辺の楽校⑤	・平成27年8月19日(水) 32
15. 西淀川水辺の楽校⑥	・平成27年10月4日(日) 34

○亀井河川レンジャー（上半期）活動報告

16. 平成27年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	36
------------------------------	----

○三輪河川レンジャー（上半期）活動報告

17. 平成27年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	38
18. 淀川生物多様性パネル展&子供体験ワークショップ	・平成27年4月11日(土) 41
19. 宇治川探索	・平成27年5月2日(土) 43
20. 防災出前講座「やさしい防災講座」	・平成27年8月26日(水) 45
21. 環境講座「淀川の生き物～天然記念物イタセンパラ～」	・平成27年9月26日(土) 47

○石山河川レンジャー（上半期）活動報告

22. 平成27年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	50
23. 安威川ダム・裏ツアー	・平成27年5月16日(土) 52
24. 安威川の生きものを作ってみよう!	・平成27年6月13日(土) 54
25. 自然楽習会 in 大正川	・平成27年8月2日(日) 57
26. 情報誌「自然画報」発行	・平成27年5月～平成27年9月 59
27. 環境フェアいばらき出展	・平成27年10月17日(土)～18日(日) 63

○新里河川レンジャー（上半期）活動報告

28. 平成27年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段	65
29. 大川クリーン活動&川に学びつながる活動	・平成27年5月23日(土) 67
30. 河川現況調査	・平成27年6月29日(月)～30日(火) 69
31. 「水は誰のものか」DVD上映とワークショップ	・平成27年7月31日(金) 71
32. パネル展「淀川治水のあゆみ」	・平成27年8月3日(月)～7日(金) 73
33. 河川現況調査	・平成27年9月27日(日) 75
34. 大川地引網	・平成27年10月12日(土) 77
35. 北区民カーニバル出展	・平成27年10月18日(日) 79

○辻川河川レンジャーアドバイザー（上半期）活動報告

36. リバーウォッチャー淀川探検隊	・平成27年5月18日(月) 81
37. 淀川区防災ジュニアレンジャー研修活動	・平成27年7月4日(土) 83
38. わがまち「防災スクール」	・平成27年9月11日(金) 86

○グループ河川レンジャー（上半期）活動報告

（責任者：辻川松子 構成員代表：松本麻里）

39. 平成 27 年度 年間活動計画	88
40. 親子リバースクール	・平成 27 年 8 月 1 日(土) 95
41. わがまち「防災スクール」	・平成 27 年 9 月 12 日(土) 98

○西岡河川レンジャー・三輪河川レンジャー・玉井河川レンジャー連携活動

42. 淀川の治水・防災展	・平成 27 年 6 月 30 日(火)～7 月 6 日(月) 100
---------------	-------------------------------------

○池宮河川レンジャー（上半期）活動報告

1. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

1.1 活動の目的

- ①幾多の河川改修を経ながら、多くの自然と歴史・文化遺産を持つ淀川、その汽水域は稀少な環境である自然干潟と再生された人工干潟が併せて数カ所存在している。葭原を含む干潟によって流域の生物多様性及び景観が保たれ、水質浄化にも役立っている。
- ②河川に存在する構造物・継続実施される河川改修等によって都市生活の安全は守られている。
- ③地域住民はそのような環境にある淀川に対し関心を示さず近づかない。
以上の課題認識から
生物多様性を育む干潟の保護・育成と、災害等の被害抑止の対策と河川環境の変化、淀川が抱える課題を共有する地域住民を増やし、保護・育成すべき自然、改善すべき現状、また将来起こるであろう災害への対処法を住民の方々へ啓発、貴重な干潟を含め、多くの自然が残る汽水域流域が安全で安心のできる「いい川・淀川」になるよう活動する事を目的とする。

1.2 活動の目標

- ①住民参加による干潟の自然観察会を継続実施、河川の適正な利用で参加者を定着させる。
- ②「知ってるようで知らない淀川」の歴史、自然、施設、文化遺産を啓発する河川ウォーキングを実施、現在ある淀川をありのまま理解する参加者を増やし定着させる。
- ③「みんなで考えよう防災」講座を定期開催、災害の歴史、河川整備を啓発、淀川とともに生きる地域住民と災害に強い街づくりを学び、河川レンジャー活動への理解者を増やす。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
			1	2	3	4
Step1 地域住民の関心を高める	1. 「干潟の自然観察」の実施 地域の住民と校区の小学校と連携して「十三干潟」での遊びを体感してもらい、身近にある干潟の自然を知ってもらう。 2. 「知ってるようで知らない淀川」探訪ウォークの実施 淀川の歴史、自然、施設、文化遺産を体感していただく。 3. 地域防災の啓発、パネル展の実施。					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	1. 「干潟の自然観察」の継続実施 地域の住民と校区の小学校と連携して干潟で生物の採捕・観察等のモニタリングの実施、干潟環境の変質を観察、記録し意見交換する。 2. 「知ってるようで知らない淀川」探訪ウォークを継続実施 淀川へ誘導する参加者を区内全域へ対象を拡大、淀川及び河川レンジャーの活動理解者の裾野を拡大する。 3. 「みんなで考えよう防災」ミニ講座の継続実施 災害時における住民の自助意識の啓発の実施					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	1. 干潟の自然観察の継続 地域住民、水生生物の研究者と共同で干潟の定期的なモニタリングを開始。 干潟、水陸移行帯が持つ課題を意見として取りまとめ、水辺環境の改善を目指す。 2. 探訪ウォークを継続実施し、参加者から河川の現状への意見を聴取取りまとめ、住民への啓発に反映させる。 3. 地域防災の啓発 ミニ講座参加者と地域の防災組織とつなぐ。					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
淀川の歴史・文化を啓発する活動	「知ってるようで知らない淀川」 淀川の歴史、自然環境と市民生活の関わりを学ぶ	4 月
河川の適正な利用の推進を図る活動「Ⅰ」	「干潟での生物多様性と自然環境」の学習安全で楽しい河川利用を实践、干潟の持つ生物多様性と干潟の育成を学ぶ、小学校自然観察授業	6 月
防災・減災意識の啓発、推進を図る活動「Ⅰ」	河川レンジャー活動と 「みんなで考えよう防災」講座・展示 淀川の歴史、河川整備の意義を学び災害に強い街づくり	9 月
河川の適正な利用の推進を図る活動「Ⅱ」	「淀川の生物多様性と水辺の生きもの」淡水魚展示・説明 淀川の淡水魚を通して淀川の存在と環境保全を啓発	10 月
淀川の歴史と日常的な河川管理についての理解・啓発する活動	淀川探訪ウォーク 「淀川を生かし・市民生活を守る施設」を学ぶ 「知ってるようで知らない淀川」身近にある河川管理の施設について住民に理解を深めていただく、住民参加の促進探訪ウォーク&清掃	11 月
河川の適正な利用の推進を図る活動「Ⅲ」	「淀川の生物多様性と水辺の生きもの」の学習 小学校出前授業 淀川の淡水魚を通して淀川の存在と生物多様性、生息環境を維持する大切さを啓発	11 月
防災・減災意識の啓発、推進を図る活動「Ⅱ」	「みんなで考えよう防災」講座・展示 淀川の歴史、河川整備の意義を学び災害に強い街づくり	3 月

2. 淀川探訪ウォーク

・平成 27 年 4 月 2 日(木)

2.1 実施状況

活動名	「知っているようで知らない淀川」淀川探訪ウォーク		
活動分野	淀川の歴史文化の啓発、河川整備の周知		
氏名	池宮 實 (福島出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：淀川区すこやか推進委員会)		
活動日時	平成 27 年 4 月 2 日(木) 9:00~12:20		
実施場所	淀川区役所~南方河川公園~柴島浄水場~浄水場見学		
参加対象	淀川区内地域住民		
参加人数	参加総数	53 名	河川レンジャー含む
	参加者	39 名	大人 39 名
	講師	1 名	河川レンジャー
	スタッフ	7 名	すこやか推進委員会 (連携団体)
	市職員	3 名	淀川区役所保健福祉センター職員
	NHK	3 名	テレビ取材スタッフ
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	8:30	参加者受付	
	9:00	開始 河川レンジャーから活動主旨の説明と参加者への注意事項伝達	
	9:10	すこやか推進委員会メンバー (オージススポーツ) によるストレッチ体操	
	9:15	出発	
	9:25	右岸堤防上にて淀川の概要と堤防強化の説明	
	9:40	河川改修と水管橋の説明	
	10:10	柴島浄水場着	
	11:15	会議室にて水環境についてスライドによる説明	
	11:25	説明スタッフの案内による浄水場内の見学(浄水過程・汚泥処理等)	
12:00	会議室にて上水の仕組みの実験、質疑応答、アンケート記入		
12:20	解散		
配付資料	河川レンジャー作成のコース説明資料 1) 探訪ウォークルート写真付きマップ 2) コース時程		

関係機関からの支援内容		<ul style="list-style-type: none"> 1) 大阪市淀川区役所 広報誌（よどマガ）にて広報 参加者の募集 2) 福島出張所 河川レンジャーのぼり
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> 1) 実施計画の立案 2) 実施日、実施内容の調整 3) コースの下見、時間計測 4) 募集チラシ、コース解説資料の作成 5) 使用備品の手配 6) 協力者との打合せ 実施内容の周知、参加人数の確認
	当日	<p>活動実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 受付の準備 2) 参加者の受付・確認・レジユメの配布 3) 参加者へ注意事項の伝達 4) コース引率、案内と見守り 5) NHKのテレビ放送取材を受ける（スタッフ3名）
	事後	<ul style="list-style-type: none"> 1) 関係者への挨拶と報告 2) 活動報告書の作成
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> 1) 河川レンジャーのガイド付きウォーキングは非常に楽しくよかったです。浄水場の桜がきれいでした。 2) 大阪と淀川の歴史の話が良く理解できました。 3) 淀川の説明、自然環境の話聞きながら楽しく歩いてよかった、次回も開催あれば参加します。 4) 堤防の改修工事の話良くわかりました、詳しい話を聞いて良かったです。
今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> 1. 探訪ウォークも継続して実施することで、協力者（区役所・地域の団体）とのコミュニケーションがとれ、淀川の理解者を多く増やすことができている。今後の活動でも多くの方が参加しやすい内容と募集を心掛ける。

2.2 活動状況



実施状況（堤防補強の説明）



実施状況（淀川の概要解説）



実施状況（参加者と河川敷）



実施状況（柴島浄水場職員による緊急給水設備の説明）

3. 十三小学校干潟体験

・平成 27 年 6 月 15 日(月)

3.1 実施状況

活動名	十三干潟での生物多様性と自然環境 十三小学校		
活動分野	自然観察		
氏名	池宮 實 (福島出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名: 大阪市立十三小学校)		
活動日時	平成 27 年 6 月 15 日(月)10:00~11:55		
実施場所			
参加対象	十三小学校 3 学年、4 学年、PTA		
参加人数	参加総数	85 名	
	参加者	53 名	教師 6 名、3 年・4 年 44 名
	講師	—	
	スタッフ	14 名	十三福樹会 11 名、淀川水遊館 3 名
	連携団体関係者	14 名	PTA
	府県・市職員	3 名	大阪市淀川区役所(区長、課長、係長)
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	10:00	開始、児童、教職員、PTA 干潟到着、干潟観察会の開始	
	10:20	児童のブック靴が脱落しないようにスタッフ全員が手伝いビニール紐でくる	
	10:30	児童整列、河川レンジャーから見守りスタッフ紹介と干潟あそびの注意	
	10:35	河川レンジャーの先導で干潟へ移動開始、 干潟到着後、ぬかるみに足を取られながら、児童たちみんなで魚、シジミ採り、 干潟水路でのエビ採り	
	11:35	干潟活動終了	
	11:40	河川レンジャーと泥んこの児童集合、整列 手足の汚れを持参した清浄水で清掃 採捕した魚類、シジミ類を観察水槽で観察	
	11:55	児童はライフジャケット着用のまま帰校開始、終了	
配付資料	「川あそびは楽しいけれど」 遊びの注意啓発チラシ 児童用アンケート用紙(レジュメ、担当レンジャー作成)		
関係機関からの支援内容	事務所・事務局 レンジャーのぼり、ライフジャケット、ウェーダー、タモ網、簡易四手網、観察水槽、携帯救急セット、河川敷通行許可、川あそび安全啓発チラシ		

河川レンジャーの活動内容	準備	1. 実施計画の立案 2. 小学校、協力団体との折衝、実施日時等の調整 3. 協力スタッフの募集 4. 現地見、安全確認 5. 河川管理者・事務局への協力依頼 6. 協力スタッフ、団体の参加者数の確認 7. アンケート用紙の作成
	当日	備品、機材の確認、搬入 スタッフと見守りの注意事項打合せ 干潟全体の観察 干潟での生物の事前採捕 児童への川あそびの安全指導、見守り
	事後	小学校への挨拶 アンケート回収
参加者からの意見	※梅雨時にも関わらず天気に恵まれ、児童たちにとって素晴らしい干潟体験ができた。 小魚・エビ・カニ・やまとしじみ等の収穫があったことで淀川の自然を知る干潟学習となった。 教職員・PTA・地元行政の担当者にも改めて淀川の自然の素晴らしさを認識してもらえた。 ※川遊びでの安全啓発の為、児童にライフジャケットを着用させた。 ※児童の感想（別紙アンケート用紙（回収分）を参照） 身近にある淀川に多くの生き物がある事を体験出来て感動した答えが多く寄せられた。	

3.2 活動状況



レンジャーによる魚類採捕



実施準備（ライフジャケット着用）



実施準備（安全のため靴をひもで固定）



十三干潟観察（シジミ採取、魚採り）

4. 淀川の生き物パネル展示

・平成 27 年 8 月 21 日（金）

4.1 実施状況

活動名	「河川レンジャー活動と淀川の生き物パネル展」活動		
活動分野	啓発その他・水利用等		
氏名	福島出張所管内 池宮實河川レンジャー		
連携等	河川レンジャーとの協同・団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：淀川区保健福祉センター、淀川区すこやか推進委員会)		
活動日時	平成 27 年 8 月 21 日（金）10：30 ～15：00 パネル展示は区役所 1 F ギャラリーにて 8 月 19 日～9 月 1 日まで実施		
実施場所	(場所) 大阪市淀川区役所 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	270 名	
	参加者	146 名	パネル展会場 大人 86 名、子ども 60 名（8 月 21 日）
		116 名	淀川の魚展示と講演会 大人 66 名、子ども 50 名
	講師	—	
	スタッフ	2 名	淀川水遊館
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	5 名	大阪市淀川区職員
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	9：00	開始：会場準備（1階パネル展、2階魚展示と講演会場）	
	10：30	・淡水魚搬入	
	11：00	・会場展示パネル閲覧開始・魚展示開始	
	13：30	・池宮レンジャーによる「今日は水のお話し」と題し、パワーポイントによる講演	
	13：50	・水道水の浄化の仕組み実験（簡易実験）	
	15：00	・終了	
	15：45	・会場後片付け	
配付資料	・淀川の魚たちパンフレット ・淀川に住む天然記念物イタセンパラパンフレット ・水生生物センター見学のしおり		

関係機関からの支援内容		1) 淀川区保健福祉センター 区民だより（よどマガ）、フェイスブック、チラシ配布により広報参加者の募集
河川レンジャーの活動内容	準備	1) 実施計画の立案 2) 実施日、実施内容の調整 3) 展示スペースの打ち合わせ 4) 募集チラシの作製 5) 展示備品の準備 6) 協力者（淀川水遊館）との打ち合わせ 7) 実施内容の周知、協力者の確認 8) 展示パネルの作成、 9) 展示パネルの作成、水槽、淡水魚等の手配
	当日	活動実施 1) 備品の搬入・展示、水槽準備 2) 淡水魚搬入、撤去 3) 協力者への活動時程と注意事項の伝達 4) 淡水魚の解説、活動パネルの解説 5) 講座の実施（淀川と浄水道のお話。P. Pにて実施） 6) 水のろ過実験の実施 7) 展示物の片付け、撤去
	事後	1) 関係者への挨拶と報告 2) 活動報告書の作成
参加者からの意見		1) 淀川の自然が守られるといいですね、頑張ってください。 2) 淀川には多くの魚がいるんですね、子供たちに話します。 3) 大阪の水道水がリサイクル水とのお話、初めて聴きびっくりしました。 4) 高度浄水の話、防災のための水の汲み置き、勉強になりました。 5) 水のろ過実験はわかりやすかったです、子供を連れてくれば良かった。 6) 淀川の魚が観察できる場所が身近にあるといいですね。

4.2 活動状況



・簡易水防工法、淀川の生き物パネル展示状況



・淀川の生き物（魚）展示状況



・「淀川と浄水道」講演状況



・水質浄化簡易実験状況

5. 淀川の歴史を学び水害に強い街づくり

・平成27年9月4日(金)

5.1 実施状況

活動名	淀川の歴史を学び災害に強い街づくり		
活動分野	防災		
氏名	池宮 實 (福島出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：大阪市平野区老人福祉センター)		
活動日時	平成27年9月4日(金) 10:00~12:15		
実施場所	大阪市平野区老人福祉センター：大阪市平野区加美鞍作 2-26		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	16名	
	参加者	11名	大人11名
	講師	1名	池宮 久子氏(防災ずきん指導)、
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	3名	大阪市平野区老人福祉センター職員
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	10:00	会場準備	
	10:20	開始、レンジャー、講師、スタッフの開会コメント、	
	10:30	レンジャーによる地震水害の防災講座	
	11:00	防災ずきん講座の開始、講師から型紙の配布、	
	11:20	大阪府による防災訓練警報メールへの対応	
	11:30	ミシンを使って講師の指導、参加者による防災ずきんの縫製作業	
	12:15	閉会のコメント、終了、解散	
配付資料	地震が発生したときの防災一口メモ、緊急事態警報音パターン、簡易アンケート (レジュメ：担当レンジャー作成)		
関係機関からの支援内容	レンジャー事務局：簡易土のう制作パネル 平野区老人福祉センター：会場・機器の準備 平野区老人福祉センター：広報案内		
河川レンジャーの活動内容	準備	1. 実施計画の立案 2. 実施日、実施内容の検討、講座資料の作成、簡易アンケート作成 3. 関係機関との調整 4. 協力者との打ち合わせ 5. 実施内容・参加人数の確認 6. 使用備品の手配	
	当日	P/C P/P機器のセッティング 活動実施 アンケートの回収	
	事後	活動実施報告書の作成	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・まさかの時にどのような高さの所、場所に避難したらよいかなどが分かりやすい説明で勉強になった。 ・地震・津波・水害などの災害が理解でき勉強になった。 ・身近な物でも土のうの代わりになる方法がわかりよかった。 ・自分の身を守るために普段から心がけるべき事がわかりやすく話されてよかった。 		

5.2 活動状況



レンジャーによる地震水害の防災講座



ミシンによる講師の指導



防災ずきんの作業全景



参加者によるアンケート記入

6. 神崎川防災見学

・平成27年10月15日(木)

6.1 実施状況

活動名	神崎川防災見学 防潮堤補強工事		
活動分野	防災		
氏名	池宮 實 (福島出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名: 西大阪治水事務所、淀川区役所、淀川水遊館)		
活動日時	平成27年10月15日(木)9:00~12:20		
実施場所	淀川区役所~御幣島~神崎大橋~神崎川右岸工事現場		
	<p>電子国土地図</p> <p>移動時間 30分 途中・国道2号線鉄橋見学</p> <p>現場見学 神崎川防潮堤補強工事 H26-1 みらい建設工業(株) 11時00分~11時30分</p> <p>集合及び工事概要説明 神崎川防潮堤補強工事 H26-1 作業所 東急建設(株) 10時00分~10時30分</p> <p>西淀川区</p>		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	17名	
	参加者	10名	大人10名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	6名	西大阪治水事務所防災対策課4名、淀川区役所2名
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	集合	
	9:45	東急建設現場事務所着	
	10:00	開始、東急建設現場での治水事務所から工事概要説明、液状化対策模型説明終了後ヘルメットとライフジャケットの装着、移動開始	
	11:25	神崎大橋左岸防潮堤見学、工事完成区間見学、佃ふれあい公園にて説明看板	
	11:40	神崎川右岸海拔0メートル地帯を移動	
	12:00	みらい建設現場担当者から説明、改良工事現場の視察	
	12:20	終了、解散	
配付資料	見学スケジュール(レジュメ: 担当レンジャー作成)、 神崎川筋の防潮堤補強工事について、工事概要、神崎川筋における南海トラフ巨大地震・津波対策(レジュメ、パンフ: 西大阪治水事務所提供)		
関係機関からの支援内容	1) 淀川区保健福祉センター チラシ配布により広報 参加者の募集 2) 大阪府西大阪治水事務所 工事概要パンフレット 工事概要レジュメ		
河川レンジャーの活動内容	準備	1) 実施計画の立案 2) 西大阪治水事務所担当者との打合せ 3) 実施日、実施内容の調整 4) 募集チラシの作製	

		5) 協力者（淀川区役所）との打ち合わせ 6) 実施内容の周知、協力者の確認
	当 日	活動実施 1) 参加者への活動時程と注意事項の伝達
	事 後	1) 関係者への挨拶と報告 2) 活動報告書の作成
参加者からの意見		1) アンケート回収

6.2 活動状況



治水事務所から工事概要説明



神崎川左岸防潮堤補強工事完成区間



実施状況（改良工事現場での説明）



完成後の内部状況

○西岡河川レンジャー（上半期）活動報告

7. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

7.1 活動目的

目的のすべては防災にあります。ここ西中島地域は昔から川の氾濫で悩まされていた地域と聞きます。近年巨大化する台風や、南海トラフによる巨大地震に備え、住民が自助避難できる知識を構築できればと思います。その為には、生活する住居のどこに津波避難ビルがあるのか、また、どの道を歩いて避難するのか住民と一緒に考え避難マップを作っていきたいと思えます。

この地域にも地域活動協議会がありますので、まず最初は地域活動協議会から入り込み、活動は町会単位でできればと考えています。

主にお年寄りや子どもさんを養っている家庭に、避難時の注意点や家庭内備蓄の大切さなどを理解していただければと思います。又、中学生や若い世代の方たちには、避難も大事ですが自ら支援者へなって頂ける要素もとらえ、レンジャー活動と考えています。

7.2 活動の目標

- Step1 水害の怖さを知る。 過去の水害写真や被害内容などとりまとめ、住民の方たちに水害の種類、被害の実態などを伝える。
- Step2 身を守るためには。 浸水した道路の危険性、津波予想発令時の避難場所までのルート住民の方と一緒に決めてゆく。(この場合家屋倒壊にて避難路が通れない場合も想定し、第2、第3ルートの提案も進める。
- Step3 備え。日ごろの生活の中で、いざ災害が発生しても公助が行われるまでの最低期間生き残れるための、家庭内備蓄を推進する。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行		1 期		2 期
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	① 町会単位で危険度をしるし、その住民から近い避難ビルを教える。 ② 南海地震の場合津波到達時までの時間に何が出来るか住民と一緒に考える。		→	→		
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	① 若い世代の方たちとの土嚢づくり体験。(中学生・高校生を含む) ② 災害時要支援者の把握と実際の避難訓練。			→	→	
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	① 年に1回は防災アンケートを作ってみたい ・各家庭が抱える不安点などを調べ結果を行政に発信したい。 ② 私の職場に「河川レンジャー防災相談所」の看板を掲げたい。広く市民や住民の方たちの話を聞き行政に発信したい。				→	→

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
防災・救援・救難 の推進を図る活動	淀川区・西中島小学校での防災講座	5 月
	淀川区・豊中市・吹田市協力による帰宅歩行訓練（予定）	9 月
河川に係わる歴史・文化の普及・ 啓発活動	此花区にて中島大水道の歴史を伝える人形劇計画	11 月
	淀川区河川敷フェスティバルにて中島大水道の歴史を伝える人形劇と河川の生き物を題材とした切り絵。	10 月

8. 木川南小学校 干潟探検

・平成27年5月19日(火)

8.1 実施状況

活動名	淀川干潟探検活動	
活動分野	自然観察	
氏名	福島出張所管内 西岡河川レンジャー	
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名:淀川区役所・木川南小学校・木川南東一町会)	
活動日時	平成27年5月19日(火) 12:30 ~15:15	
実施場所	(場所) 淀川右岸 十三干潟	
参加対象	学校(団体名:木川南小学校 3・4・5年生児童)	
参加人数	参加総数	89名
	参加者	81名 大人1名、子ども80名 児童(3年生29名、4年生25名、5年生26名)
	講師	—
	スタッフ	5名 木川小学校(校長、引率教諭4名)
	連携団体関係者	—
	府県・市職員	2名 淀川区役所 市民協働課
	淀川河川事務所	—
	河川レンジャー運営事務局	1名
スケジュール	12:30	開始:木川小学校集合・スタッフミーティング
	13:10	・西岡レンジャーによる挨拶およびパネルを用いて淀川の紹介
	13:30	・十三干潟に向けて出発
	13:35	・青山教諭による探検観察会の注意事項の説明
	13:40	・学年ごとの活動の開始
	14:40	・探検・生き物観察の終了
	14:50	・帰校
	15:05	学校到着:終了
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川の干潟探検実施(案) ・河川レンジャー簡易アンケート 	

関係機関からの支援内容		淀川河川事務所：レンジャーのぼり旗 淀川区役所：運営時の安全管理
河川レンジャーの活動内容	準備	・現地下見（前日） ・淀川の環境説明パネル準備（活動「コント淀川さん」で常時使用）
	当日	・現地出発前の学校で淀川の環境について説明 ・移動時引率および安全管理 ・現地での干潟探検運営（安全管理、草笛やササの船などの作り方指導、干潟探検時での泥に足がはまった時の脱出法など指導 等）
	事後	活動報告まとめ
参加者からの意見		・魚とりがおもしろかった ・また行きたい

8.2 活動状況



・西岡レンジャーによる淀川環境について説明



・淀川の自然で楽しむ遊び方の実演



・十三干潟での自然観察状況①



・十三干潟での自然観察状況②

9. 帰宅困難者歩行訓練

・平成 26 年 9 月 4 日（金）

9.1 実施状況

活動名	平成 27 年度災害時帰宅困難者体験訓練活動		
活動分野	防災		
氏名	福島出張所管内 西岡和昭河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：主催 災害時帰宅困難者体験訓練実行委員会/共催 豊中市・大阪市淀川区/後援 吹田市・吹田市教育委員会・豊中市教育委員会)		
活動日時	平成 27 年 9 月 4 日（金） 17：30～ 21：00		
実施場所	(集合場所) 新大阪駅前日本生命ビル裏公園 		
参加対象	地域住民・団体(地域団体・学校・行政・企業など) (団体名：江坂企業協議会・コナミススポーツクラブ江坂・江坂企業用議会・パナホーム(株)・損害保険ジャパン日本興亜(株)・追手門学院幼稚園・スターバックスコーヒー豊中緑地公園店・豊能地区郵便局長会・アパルトマンエージェンツ(株)・千西会・北大阪急行(株)・Acan B・(株)ダンオート・NPO 生き生きつながる会・日清食品ホールディングス(株)・新大阪アメニティ・ソサエティ・淀川区コンビニエンス防犯協議会・弁護士法人中村法律事務所・せんちゅうぱる専門店会・千里セルシー・千里しゃぶ亭・森石油・三島地区郵便局長会・タイムパーキング(株)・トランクルーム S-CUBE・LLP ユニバーサル企画・タリーズコーヒー・パンフィックマークス江坂店・エムート(株)・(株)新日通・NPO 法人大坂北部コミュニティカレッジ・NPO 法人 JASSE・千里福祉情報センター・日本マクドナルド・大正製薬(株)・エースコック(株)・カゴメ(株)・(株)ダスキン)		
参加人数	参加総数	191 名	(総参加人数 620 名)
	参加者	155 名	大人 155 名、子ども 0 名 (新大阪駅出発参加者分)
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	20 名	実行委員会・府池田土木事務所・府茨木土木事務所・府豊中警察署
	府県・市職員	15 名	淀川区役所職員(榎区長他 15 名)
	淀川河川事務所	—	
河川レンジャー運営事務局	1 名		

スケジュール	17:30	開始：受付（実行委員会が主体）
	18:00	・大阪市淀川区榊区長挨拶
	18:10	・新大阪出発
	19:30	・服部緑地出発地点に到着
	20:20	・桃山台出発地点到着
	20:55	・千里中央最終地点到着
	21:00	終了
配付資料		・平成27年度災害時帰宅困難者体験訓練ガイドマップ
関係機関からの支援内容		<ul style="list-style-type: none"> ○淀川河川事務所：レンジャーのぼり旗 ○淀川区コンビニ防犯連絡協議会：訓練参加協力 ○歩行訓練沿線上のコンビニエンスストア：トイレ・休憩場所 <ul style="list-style-type: none"> ・セブンイレブン大阪宮原2丁目店 ・セブンイレブン大阪ブリックベル店 ・セブンイレブン吹田江坂町2丁目店 ・ファミリーマート淀川宮原店 ・ファミリーマート大阪回生病院前店 ・ファミリーマート東三国3丁目店 ・ローソン江坂南口店 ・ローソン江坂駅前店 ・ローソン江坂町4丁目店 ・ローソン100 淀川宮原店 ・サークルk吹田春日店
河川レンジャーの活動内容	準備	訓練参加協力店へ事前挨拶と訓練協力を依頼
	当日	訓練運営（参加者誘導、安全管理等）
	事後	訓練参加協力店への御礼挨拶とレンジャーのぼり旗回収 訓練アンケート回収
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅支援ステーションとしての役割をスタッフと共有し、情報提供に努めたいと思います。 ・トイレの利用者はあまり無かった。 ・今回の案内を聞き、このような取り組みがある事を初めて知りました。多くの方が参加されていて驚きました。 ・いざという時の為に自分も参加しようと思いました。 ・トイレがあると助かる、 ・休めるところがあると嬉しい。 ・災害により、停電が起きれば、セーフティステーション協力店は、その所在を解りやすくする工夫が必要だと思う。

9.2 活動状況



・榎 淀川区長による体験訓練の開始挨拶



・コンビニエンス防犯連絡協議会におけるコンビニでの協力体制状況



・途中受付ポイントの状況



・ゴールの千里中央に到着状況

○村瀬河川レンジャー（上半期）活動報告

10. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

10.1 活動目的

淀川下流域一帯は、
 過去：新淀川の付け替え工事が行われ100 年余。かつての西淀川区は一帯が水辺に取り囲まれた水郷地帯。いつも水との戦いで住民は苦勞。
 水に関する数々の歴史・文化遺産が、現在も残されていたり使用され引き継がれている。
 現在：震災後は水辺環境も大きく変化し、汽水域の自然が再生。
 一方、課題（漂着ゴミ・特定外来生物・工場跡地の宅地化・水辺への無関心等）も発生。
 今後の活動：河川レンジャーとして**水辺の保全活動**を行うため、
「西淀川水辺の楽校」を開催し、
 水辺の生きもの調査や自然体験活動を地域の人たちと共に取り組む。

10.2 活動の目標

- Step1 水辺への誘いとして調査および自然体験を実施
 Step2 調査活動を活かした情報の発信活動
 Step3 保全活動の担い手となるリーダー養成活動の場につなげてゆく
 （10 年後を見据えて）

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行		1 期		2 期
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	①水辺ウォーク ・身近な足元の水辺、歩き近づき関心をはらう ②調査活動 ・身近な水辺の調査をし、足元の自然を知る					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①情報の発信 ・調査および活動を発信し、理解を求める ②連携 ・活動の取り組みや課題への理解を求めるためには連携しながら発信し続ける					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①ワークショップの開催 ・活動をワークショップで紹介し、発信する仕組みを構築する 例) 西淀川まるごと自然体験教室の開催					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
<p>(2) 河川の環境保全を図る活動</p> <p>イ 河川環境保全・再生の普及・啓発・学習・住民参加の促進</p> <p>ロ 河川環境のモニタリング</p> <p>ハ 水質改善のための啓発活動</p>	<p>「西淀川水辺の楽校」①~⑫</p>	<p>4月～3月 (隔月1回)</p>
<p>(10) 河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信</p>	<p>「西淀川河川レンジャーニュースレター」の発信</p>	

11. 西淀川水辺の楽校②

・平成 27 年 5 月 30 日 (土)

11.1 実施状況

活動名	平成 27 年度西淀川水辺の楽校活動		
活動分野	自然観察		
氏名	福島出張所管内 村瀬りい子河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名:大阪湾見守りネット、西淀自然文化協会)		
活動日時	平成 27 年 5 月 30 日 (土) 8:45 ~12:45		
実施場所	(場所) 淀川右岸矢倉干潟 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	44 名	
	参加者	35 名	大人 17 名、子ども 18 名
	講師	2 名	海岸生物研究会 大阪自然歴史博物館 波戸岡清峰学芸員 和田 太一学芸員
	スタッフ	5 名	西淀川自然文化協会
	連携団体関係者	名	
	府県・市職員	1 名	近畿地方整備局企画部広域計画課 鞆師 氏
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
	スケジュール	8:45	開始: 阪神なんば線福駅集合、スタッフ打ち合わせ、受付
	9:00	・マイクロバスにて現地(矢倉干潟)に出発	
	9:35	・矢倉緑地到着	
	10:00	・河川レンジャー挨拶(活動内容および注意事項説明等) ・講師紹介(近畿地方整備局鞆師氏 他)	
	10:10	・矢倉海岸に向けて出発	
	10:15	・矢倉干潟での生物観察及び採取体験	
	11:35	・捕獲した生物(魚・甲殻類他)の同定	
	12:00	・集合写真	
	12:25	・アンケート調査	
	12:45	・河川レンジャー閉会挨拶	
		終了	

配付資料		<ul style="list-style-type: none"> ・活動案内チラシ ・大阪湾生き物一斉調査シート ・大阪湾生き物一斉調査解説シート ・ホンヤドカリ類の見分方解説書 ・アンケート調査
関係機関からの支援内容		<ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方整備局：活動案内チラシ印刷 ・西淀自然文化協会：マイクロバスでの移動 ・大阪湾見守りネット／大阪湾全域のデータ提供・共有
河川レンジャーの活動内容	準備	諸関係機関への連携&協力依頼 諸手続き作業： <ul style="list-style-type: none"> ・西大阪治水事務所／河川一時使用届け ・大阪市十三公園事務所／車乗り入れに伴う駐車許可願い ・大阪市環境局／ゴミ収集にともなう収集届け 淀川福島出張所／車乗り入れに伴う許可願いと鍵の借入れ願い
	当日	全般の統括
	事後	諸関係機関への事後手続き作業： <ul style="list-style-type: none"> ・鍵の返却作業／十三公園事務所・淀川福島出張所 ・通行許可証の返却作業 報告書の作成 データ整理&発信作業
参加者からの意見		<ol style="list-style-type: none"> 1. 矢倉にはじめて来ましたが、たくさんのカニとふれあえて感動しました。 2. イソギンチャクとカニをつかまえて、嬉しかったです。 3. 親子で自然にふれあえて、貴重な体験ができました。ありがとうございました。 4. 風が気持ちよかったです。シジミを捕ったりの体験も良かったです。(来年も是非参加したいです。) 5. ゴミとり最高。シジミ捕りしたけど、ぜんぜん取れなかった。もっとゴミ取りをしたかった。終わったら気力がなくなった。 6. 歩くのは大変だったけれど、シジミがいっぱい取れて良かったです。 7. ゴミを山盛り取ったぞー。 8. 今日はとても楽しかったです。いろんな人とも話がはずんだので、また参加したいです。 9. 見渡した時には、きれいに見えた川原もよく見るとゴミがいっぱいでビックリ。シジミに出会えて感激!! 10. 大阪の知らない歴史を知ることができました。ありがとうございました。 11. 昔の遺跡や、シジミ取りが楽しかったです。大きなシジミや形の変なシジミも取れました。 12. 天候にも恵まれ、淀川の歴史を学び、自然に触れる事ができて、すばらしかったです。貴重な体験でした。 13. 天気も良い中で、普段からよく行く梅だの近くに、昔からの集落や、川にゆかりのある場所があると知った。シジミは今回なかなか見つけられなかったなので、再チャレンジしてみたいです。 14. 淀川の歴史は全く知らなかったなので、勉強になりました。シジミ取りは子どもも私も楽しかったです。』 15. 昨年と比べるとゴミの量がすごく少なくなっているように思いました。皆が力を合わせればもっとキレイな淀川を実現できるのではと思います。 16. 貴重な体験ができ、親子共々楽しめました。いろいろなスタッフの方にお世話になり、ありがとうございました。 17. 昔の様子や現在どのように変化していったかといった推移が聞いて興味深かった。シジミ取りではほんまにいる事が確認できて良

- かった。また環境保全のために役立つ事をしていきたいと思う
18. 西淀川の歴史が興味深く、大阪の「水の都」のいわれに少し触れた様な気がした。ありがとうございました。
 19. 意外と多くのシジミが取れビックリしました。淀川の自然に感動です。歴史も勉強になりよかったです。
 20. 川のそばに大きなゴミが多くありビックリしました。
シジミも大きなものが出てビックリ！
生き物のためにも汚さないことが大切！！
 21. ゴミの多さにビックリ。シジミがたくさん取れた。
利用者みんなで大掃除をしよう！！
 22. 貴重な体験を一日をとおしてさせて頂きました。
シジミ取りも楽しかったです。

11.2 活動状況



・ 矢倉緑地での村瀬レンジャーに活動内容および注意事項の説明



・ 矢倉干潟での生物観察及び採取体験状況



・ 講師による魚類の解説および同定



・ 講師による甲殻類の解説および同定

12. 西淀川水辺の楽校③

・平成27年6月24日(水)

12.1 実施状況

活動名	平成27年度西淀川水辺の楽校活動		
活動分野	河川美化・環境保全・啓発その他・広報・○自然観察・水利用等・防災		
氏名	福島出張所管内 村瀬りい子河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名:大阪湾見守りネット/大阪湾全域のデータの共有 (西淀自然文化協会:バスへの乗車協力依頼)		
活動日時	平成27年6月24日(水) 9:30 ~12:30		
実施場所	(場所) 淀川右岸矢倉干潟 		
参加対象	地域住民・団体(地域団体・学校・行政・企業など)(団体名:) ・一般市民		
参加人数	参加総数	12名	
	参加者	12名	大人12名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	9:30	開始: 開始・挨拶・主旨説明・活動内容および注意事項説明	
	10:00	移動(河川敷に)	
		観察開始:	
		・JR塚本鉄橋右岸~淀川大橋	
		・鳥、チョウ類、主な花や実を中心に植物観察、捕獲生物の採取および同定	
	11:40	ワークショップ(自然材を使った工作体験)	
	12:30	活動まとめ(参加者からの感想、河川レンジャーによるまとめ)	
		終了	
配付資料	・活動案内チラシ ・ホンヤドカリ類の見分方解説書 ・アンケート調査		
関係機関からの支援内容	・西淀自然文化協会:マイクロバスでの移動 ・大阪湾見守りネット/大阪湾全域のデータ提供・共有		
河川レンジャーの活動内容	準備	現場確認作業 ワークショップ準備作業 呼びかけ作業(チラシの設置&配布)	
	当日	観察会全般指導・統括	
	事後	報告書の作成 データ整理&発信作業	

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法工作物が、あまりにきっちりできており驚いた。釣り場確保のため？ 目的が意味不明。 ・ イラガを確認。(いつもはヒロヘリアオイラガ) ・ ヨシハラのカニの巣穴にびっくり。クロベンケイガニとのこと。教えて頂いて沢山確認できました。 ・ この時期にいつも見られるザトウムシ。本日は一匹も確認できずに残念。塚本鉄橋下では、毎年産卵のためか 500 匹ほど、集団ですごす様子を確認しているのだが、いつもの場所が一昨年、昨年と台風による影響か、崩れたところ一帯をコンクリートで補修されており、因果関係は不明だが、一匹も確認することができなかった。
-----------------	--

12.2 活動状況



・ 採取した生物（ハマガニ）を観察



・ 河川敷周辺の植物、昆虫観察



・ ワークショップ（自然材を使った工作体験）

13. 西淀川水辺の楽校④

・平成27年7月25日(土)

13.1 実施状況

活動名	平成27年度「西淀川水辺の学校」-淀川/矢倉干潟に行ってみよう！-		
活動分野	自然観察		
氏名	村瀬 りい子 (福嶋出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名:西淀川自然文化協会)		
活動日時	平成27年7月25日(土)10:00~12:40		
実施場所			
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	62名	
	参加者	34名	大人13名、子ども21名
	講師	1名	和田太一氏
	スタッフ	3名	NPOセンター 1名、他2名
	連携団体関係者	22名	西淀自然文化協会 22名
	府県・市職員	1名	大阪府
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	10:00	開始、レンジャーから活動のコメント、共催団体代表のコメント	
	10:30	干潟へ移動、観察開始	
	11:30	講師と生きもの合わせ(出現種の同定)	
	11:55	生きものリリース	
	12:10	自然材を使った工作体験、アンケート記入	
	12:30	観察会アンケートのまとめ	
	12:40	終了、解散	
配付資料	矢倉干潟生きもの下敷き		
関係機関からの支援内容	特になし		
河川レンジャーの活動内容	準備	下見・ワークショップ準備・スタッフ協力依頼打合せ 車両乗り入れ許可&鍵の借入れ届け手続き作業 (淀川河川事務所) 上記、前日の借入れ作業 車両駐車許可願い (大阪市西淀川区役所) 収集ゴミの処理依頼 (大阪市十三公園事務所)	
	当日	全体の統括他	
	事後	淀川河川事務所: 車両許可証および鍵の返却作業 大阪市十三公園事務所: ゴミ収集報告・私用報告 大阪市西淀川区役所: 駐車場使用報告他 報告書の作成 河川レンジャーニュースの作成	

<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大変暑かったですが、生きものを沢山確認できる場所で楽しかったです。 ・ハクセンシオマネキをはじめてみました。もっともっと大きいと思いましたが、あまりに小さいので驚き。でもとっても可愛かったです。 ・子どもが熱心に先生のお話を聴いておりました。 ・講師の先生のお話がとてもわかりやすく、興味が持てました。 ・大きなキビレダイを釣りの方が釣っており驚きました。とてもきれいですね。名前の由来もよくわかりました。 ・今日はバスで来ましたが、もっと簡単に来たいと思いました。 ・親子でゴミ拾いに参加しましたが、楽しかったです。 ・家族での参加でした。早く着いてゴミ拾いに参加しましたが、いろいろな漂着ゴミにビックリしました。 ・タツノオトシゴのなかまをはじめて見ました!無選別のチリメンジャコで、見たことはあるのですが、干物と生は全く違っておりました。水玉模様もはっきり確認できました。嬉しかったです。
-----------------	--

13.2 活動状況



水辺のクリーンアップ状況



自然観察状況 (ハクセンシオマネキ生息地)



講師と採取した生きものの同定



採取した生きもののリリース

14. 西淀川水辺の楽校⑤

・平成27年8月19日(水)

14.1 実施状況

活動名	つくって遊ぼう、調べてあそぼう 野里住吉神社		
活動分野	自然観察		
氏名	村瀬 りい子 (福島出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名: 野里住吉神社、西淀自然文化協会)		
活動日時	平成27年8月19日(水)10:30~12:20		
実施場所	野里住吉神社: 大阪市西淀川区野里		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	82名	
	参加者	67名	大人13名、子ども54名
	講師	1名	野里住吉神社鎌田宮司
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	13名	西淀自然文化協会
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	10:30	開始 ・河川レンジャー挨拶、活動内容・注意事項説明 ・宮司挨拶	
	10:50	セミの抜け殻調査	
	11:20	体験活動 (貝殻のタペストリーづくり、チリメンモンスター調べ、ペットボトル浮きづくり、六角絵づくりなど催し)	
	12:00	活動まとめ	
	12:20	終了	
配付資料	当日スケジュール(レジュメ: 担当レンジャー作成)、各種パンフレット		
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所: 椅子や机の借用 野里住吉神社: 活動会場の提供		
河川レンジャーの活動内容	準備	企画・チラシ作成&配布・連携先との打合せ他準備・下見・ワークショップ準備等	
	当日	全体の統括	
	事後	報告書作成・諸関係先への報告事項	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に参加する我が子を見ていて、こちらも楽しかったです。暑さ対策も考えて下さって、すごいなと思いました。 ・初めての参加でしたが、とても楽しかったです。 ・環境保全活動への関心はあまり無かったが、関心を持ってました。 ・今日の活動内容が、何となく理解できました。また機会があれば是非参加したいです。 ・魚とりや鳥などの観察に、参加したいです。 ・河川の歴史・文化を知る活動に参加したいです。 ・河川の美化活動に参加してみたい。 ・防災・減災に関する活動に参加してみたいです。 ・活動に参加して、淀川にすごく興味を持った。 ・活動に参加して、淀川のことを調べたいと思った。 		

14.2 活動状況



野里住吉神社宮司挨拶



セミの抜け殻調査



チリメンモンスター調べ



貝殻タペストリーづくり

15. 西淀川水辺の楽校⑥

・平成27年10月4日(日)

15.1 実施状況

活動名	西淀川水辺の楽校⑥ ～水都おおさか森林の市出展～		
活動分野	自然観察		
氏名	村瀬 りい子 (福島出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：林野庁近畿中国森林管理局、西淀自然文化協会)		
活動日時	平成27年10月4日(日)10:00～16:00		
実施場所	大阪市 桜之宮公園		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	506名	
	参加者	500名	大人260名、子ども240名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	5名	西淀自然文化協会
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	10:00	開始	
	11:30	展示物説明 自然材を使った工作体験 アンケート記入	
	16:00	終了	
配付資料	ワークショップ「森の人/オランウータンを作ろう!」(レジュメ:担当レンジャー作成)		
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所 福島出張所:テント・机・椅子、資材搬入&搬出 河川レンジャー事務局:広報パネル		
河川レンジャーの活動内容	準備	チラシ作成・ワークショップ準備・当日協力依頼・ 資材貸与手続き・パネル作成	
	当日	運営統括(パネルコーナー担当・アンケート記入依頼)	
	事後	報告書作成・レンジャーニュースレター(村瀬版)の作成	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川レンジャー活動に、時折参加しています。 ・ いつも散歩しているがゴミが気になる。美化活動に参加したいが、どこでやっているかわからないが、日曜日の朝早くだったら起きていますので、参加できる。 ・ まち歩きに参加して、水の文化や歴史を学んでみたい。 ・ 神戸水害を知っているから、防災や減災について参加してみたい。 ・ 淀川に住んでいるが、付け替えられた事を知らなかった。 ・ 上町台地なので心配した事ないが、今度機会があったら参加しても良い。 ・ 昔レンジャーをやっていました。仕事の都合で高知に引っ越しましたが、また戻ってきましたので、何か協力できたら協力させて貰います。 ・ 魚を捕まえてみたい。今度調査に参加したい。 ・ 堰でサクラマスを上り上げた。魚が好きなので、魚とりに参加したい。 ・ 毎年参加しています。今年も子どもに頼んでつれてきて貰いました。昔、親にシジミのお守りを作ってもらった事がある。これが割れると身代わりだよ。と持たされた事を思い出した。今日は娘2人、孫2人とシジミ人形をみんなで作ったので、お守りにする。 ・ 近年水害があり気になるので、防災について学ぶ機会があったら参加したい。 ・ 淀川にウナギがいる事にビックリ。今度は観察会に参加してみたい。 ・ (パネルを見ながら) どうしたらこういう活動に参加できますか。ネットでレンジャー活動を確認してみます。 		

15.2 活動状況



会場全景



レンジャーから展示説明



アンケート記入



自然材を使った工作体験

○亀井河川レンジャー（上半期）活動報告

16. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

16.1 活動の目的

『もっともっと淀川』

淀川をもっと沢山の人に興味をもってもらいたい。淀川の事をもっと知ってもらいたい。淀川をもっとキレイにしたい。淀川をもっと魅力のあるものにしたい。その為に中津・大淀等淀川下流域をはじめとして、淀川の現状とその姿を記録する、調査する、PR する。そして、地域の方々とともに自然観察や流域探訪、清掃活動等を通じて、情報共有づくりが出来ればと考えます。さらには、映像アーカイブや写真・映像イベント等の PR 活動により、淀川流域のみならず全国規模で『淀川の魅力』『淀川の現状』のアピールが出来ればと考えます。その事をきっかけに、河川利用のあり方や美化清掃意識、自然環境意識、ひいては防災意識をも高めるような啓発活動につながればと考えます。

16.2 活動の目標

Step1 調査する、記録する、集める。親しみを作る。足がかりを作る。

Step2 ネットワークを構築する。発信する。

Step3 広く PR する。淀川を魅力あるものにする。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1 期		2 期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	①地域の状況調査と記録（WEB や展示物作成） ・流域探訪イベント ②親水と清掃活動 ・河川レンジャー活動の PR ・ハゼ釣り、清掃イベント		→			
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①写真・映像のアーカイブ ・写真イベント（コンテスト等） ②淀川映画祭実行委員会構築 ・親水、清掃イベント ・河川レンジャー活動の PR		→			
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	① 淀川映画祭 ・コンペティション、上映イベント等 ・映像利用方法の構築 ②防災、減災に向けての啓発活動 ・親水、清掃イベント		→			

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
日常的な河川管理活動	『淀川下流域 画像・映像の記録』	4 月～1 月 (隔月 1 回記録) ○3 月上映
河川の適正な利用の推進を図る活動	『投棄物・漂着物と釣り人の実態調査』	4・6・8・10・12 月 (調査) ○2 月発表
河川の環境保全を図る活動	『ハゼ釣り・清掃イベント』	9 月
河川に係わる歴史文化の普及・啓発活動	『淀川流域探訪-中津・大淀-』	2 月

○三輪河川レンジャー（上半期）活動報告

17. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

17.1 活動の目的

川に囲まれた下流域左岸は、地震、津波の影響を受けやすいエリアにもかかわらず、津波、台風などの水害への備えが十分とは言えません。環境や防災の体験学習を通して、治水利水についての理解を深め、暮らしを守り、災害への備えを日常化していくように、活動を広げます。川に背を向けた、都市型の暮らしの中では、川への関わりが希薄である。「暮らしの中の河川」の活動を通して、歴史の中で川の果たしてきた役割を学び、川に囲まれた下流域左岸の現状を認識し、川とともに生きる都市の暮らしを提案します。

17.2 活動の目標

Step1

- ① 「歴史 散歩・川沿い歩き」河川と居住エリアへの関心を深める。
- ② 「観察会、学習会」「地域子供イベント」環境への理解。
- ③ 「施設見学会、土嚢作り体験」治水利水の学習・防災意識を喚起。

Step2

- ① 行政、地域団体と協働して取り組むことで、活動エリア、活動対象を広げ、レンジャーからの情報発信を拡大し。多くの参加者と活動する機会を作る

Step3

- ① 「連携事業」から川活動、防災への取り組みを各団体が主体となり継続できるようサポートする。
- ② まちづくりを考える団体や行政と共に、観察会から環境保全活動・外来種問題へ、施設見学から防災、治水について、話し合い提言できる場の創設

● 活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	①川沿い歩き歴史散歩 川を感じ、歴史の中で河川の果たした役割を学ぶ ②観察会、学習会 川面の心地よさと生物の暮らし学ぶ ③体験学習会 防災施設見学会 防災施設の役割、利水治水の理解を深め、水害に備える ④小学校、地域子供イベント 遊びや、体験学習を通し、居住エリアの環境について学ぶ。地域団体、学校、保護者と子供達、活動グループなどと様々な学習会・観察会・体験会を多く、実施し、居住エリアへの関心と河川への理解を深める					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①国、府、市の施設を活用し、淀川の自然環境、歴史、防災の取り組みを伝える展示会の開催 ②町と川を知り、川で遊ぶ楽しさを感じる機会を作る小学校、地域での取り組みをすすめる。					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①行政、まちづくりグループとの交流により、防災学習などの提案や川情報の発信（貝毒など）。 ②者へのモニタリング 河川敷の外来種についての学習提案。 ③地域団体のニーズに応え、講座、見学会をコーディネートする。 ④地域活動や社会貢献尽力している団体と連携し、団体主催で、川での活動や、防災の取り組みができるようサポートする。					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
河川に係わる歴史・文化の普及・啓発活動	川沿い歩き歴史散歩	4 月
	地域、小学校への出前講座	8 月・2 月
防災・救援・救難の推進を図る活動	防災施設見学と体験学習	3 月
	防災パネル展	1 月
河川の環境保全を図る活動	河川環境のモニタリングと住民参加、利用者参加の促進	5・6・9・10 月
	淀川の生物多様性パネル展	4・11・12 月
川づくり・まちづくりへの参画・支援活動	まちづくり団体への講座体験学習の提言	4 月～3 月 (例会・隔月) 7 月・10 月 (企画会議)

18. 淀川生物多様性パネル展 & 子供体験ワークショップ

・平成 27 年 4 月 11 日(土)～12 日(日)

18.1 実施状況

活動名	「淀川の自然と文化」 パネル展示、体験学習		
活動分野	啓発その他		
氏名	三輪 栄子 (毛馬出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名: TEAM 魚っしょい!)		
活動日時	平成 27 年 4 月 11 日(土) 10:00～17:00～平成 27 年 4 月 12 日(日) 12:00～17:00		
実施場所	寝屋川市立ふれあいプラザ香里		
参加人数	参加総数	91 名	2 日間合計
	参加者	82 名	実参加者数 (会場の体験者数は重複してるので 139 名となっています。)
	講師	1 名	玉井河川レンジャー 淀川のお魚解説
	スタッフ	5 名	当日会場 3 名、当日運搬 1 名、事前準 5 名
	連携団体関係者	3 名	TEAM 魚っしょい!
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	11 日(土) 13:00	開場 体験コーナー開始 展示会場来館、体験者のべ 55 名 パネル解説 大人 11 名 お魚ぬりえ 大人 8 名子供 4 名 しじみストラップ 大人 5 名 生きものサイコロパズル 大人 5 名子供 8 名 お魚クイズと解説 大人 11 名子供 3 名	
	17:00	1 日目終了	
スケジュール	12 日(日) 13:00	開場 体験コーナー開始 展示会場来館、体験者のべ 84 名 お魚クイズと解説 大人 11 名子供 15 名 お魚ぬりえ 大人 6 名子供 9 名 しじみストラップ 大人 5 名子供 3 名 生きものサイコロパズル 大人 17 名子供 12 名 パネル解説 大人 6 名	
	17:00	体験コーナー終了、片付け	
配付資料	淀川発見講座チラシ、レンジャーニュース、		
関係機関からの支援内容	NPO 法人 nature works (ぬりえの原画) 淀川河川事務所(資料印刷) 淀川資料館 (展示パネル 7 枚貸与) TEAM 魚っしょい! (12 日会場利用予約)		
河川レンジャーの活動内容	準備	会場確保 11 日、展示内容打合せ、パネル選択、体験コーナーの準備 (お魚ぬりえ、しじみガイ)、スタッフ協力依頼、お魚クイズ解説資料準備、(淀川・史跡にまつわる) 寝屋川の民話の収集、お話台本作成 (今回はお話コーナーを実施できなかった)	
	当日	運搬、会場準備、お魚解説、パネル解説、体験コーナーサポート、片付け	
	事後	借用材料返却、パネル等返却、サポートスタッフへお礼と反省点聞き取り。玉井 R と次回の打合せ	

<p>参加者からの意見</p>	<p>川の航空写真、おおきなパネルでわかりやすい。 大阪がほとんど海だったとは寝屋川が、水に弱いのがわかる気がする。 淀川・宇治川がこんなに付け替えられていたとは知らなかった。 体験コーナーは大人も子供も楽しめる、時々やってほしい。 入口の水槽はよく見ているのだけど、川魚のことは全然知らなかった、とても解説がわかりやすかった。 今度は、パズルも作りたい。しじみのストラップのつくり方を覚えたので、これから貝殻を捨てずに作ります。</p>
-----------------	--

18.2 活動状況



玉井河川レンジャーによる資料を用いた淀川に生息する魚種をクイズ形式で解説



淀川に生息する魚種のぬりえ体験



自然材を使った工作体験（淀川のシジミでストラップ作り）

19. 宇治川探索

・平成27年5月2日(土)

19.1 実施状況

活動名	宇治川散策とお茶摘み体験		
活動分野	啓発その他		
氏名	三輪栄子(毛馬出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名:生涯学習講座・歴史散歩の会)		
活動日時	平成27年5月2日(度) 9:45~16:00		
実施場所	京阪宇治駅 宇治川沿い、京都府農業試験場		
参加対象	下流域地域住民・団体		
参加人数	参加総数	12名	
	参加者	9名	大人名、子ども名
	講師	2名	農業試験場工場見学館職員 宇治川散策 河川レンジャー
	スタッフ	1名	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	1名	北区
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	9:50	宇治駅集合	
	10:30	茶業会館 お茶摘み体験	
	11:10	京都府農業試験場 甜茶工場見学 手もみ体験	
	12:00	昼食休憩	
	12:30	試験場茶畑 茶葉の学習	
	13:30	東海自然道	
	14:00	天ヶ瀬吊り橋—天ヶ瀬ダム口 —甲虫採取	
	14:30	ミニ講座 琵琶湖から大阪湾 川のおはなし、古代史から近世 歴史に中の宇治	
	15:00	亀石—宇治神社—宇治橋	
	15:30	解散	
配付資料	宇治川散策用地図、茶業会館資料		
関係機関からの支援内容	地域広報、「わが町サロン、生涯学習ルーム」		
河川レンジャーの活動内容	準備	企画、下見 スタッフ依頼	
	当日	引率、解説	
	事後	スタッフ反省会	
参加者からの意見	昔はここから、宇治のお茶を、宇治川淀川の舟運により、大阪に運ばれたのだと思うと、身近に感じられる。 説明を受けて、琵琶湖、宇治川 淀川のつながりを実感した。 今日は工事中通行止めだったが、次回は天ヶ瀬ダムを見てみたい いつも飲んでるお茶なのに、知らないことだらけだった。 川沿いの散策は、お天気も良くて気持ちよかった。		

19.2 活動状況



京都府農業試験場見学状況



宇治川散策状況（天ヶ瀬吊り橋）

20. 防災出前講座「やさしい防災講座」

・平成27年8月26日(水)

20.1 実施状況

活動名	やさしい防災講座		
活動分野	防災		
氏名	三輪 栄子(毛馬出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名:大阪市立堀川小学校学童教育)		
活動日時	平成27年8月26日(水)13:30~14:20		
実施場所			
参加対象	団体(学校) (団体名:大阪市立堀川小学校いきいき教室)		
参加人数	参加総数	91名	
	参加者	76名	保護者2名、小学校児童74名
	講師	—	
	スタッフ	3名	玉井・山口・西岡河川レンジャー
	連携団体関係者	11名	いきいき教室の先生、サポートスタッフ
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	13:30	開始	
	13:40	レンジャーから活動の経緯と主旨について、水のお話、川の話。	
	14:10	レンジャーからまとめの話	
	14:20	終了、解散(学級にてアンケート記入)	
配付資料	統一アンケート用紙		
関係機関からの支援内容	いきいき教室 保護者への広報		
河川レンジャーの活動内容	準備	日程調整、会場確定、いきいきの先生、スタッフ、との打ち合わせ。参加レンジャーとの打ち合わせ。「コント淀川さん」の衣装、小道具、準備。 レンジャー旗、解説パネル準備	

	当日	準備、進行、解説、コント淀川さん上演
	事後	片づけ、スタッフの先生と打ち合わせ。R反省会。後日、アンケート回収。いきいきの先生から感想、聴取。今後の活動、環境学習のサポート等依頼される。
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちと対話型のお話ですぐに、水のお話や川のお話に興味を持って、聞いているようでした。 ・コント淀川さんは防災や、環境について、わかりやすく楽しい企画で、こどもたちも大喜びでした。

20.2 活動状況



レンジャーによる切り絵の指導



レンジャーから淀川水系のあらましについて解説



「コント淀川さん」上演
(コント形式で淀川の概要を学ぶ)




活動のまとめのお話

21. 環境講座「淀川の生き物～天然記念物イタセンパラ～」・平成 27 年 9 月 26 日(土)

21.1 実施状況

活動名	環境講座「淀川の生き物～天然記念物イタセンパラ～」活動	
活動分野	環境保全	
氏名	毛馬出張所管内 三輪栄子河川レンジャー	
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：大阪市立堀川小学校学童教育)	
活動日時	平成 27 年 9 月 26 日(土) 13:30～ 15:0	
実施場所		
参加対象	団体(学校)(団体名：大阪市立堀川小学校いきいき教室)	
参加人数	参加総数	19名
	参加者	17名 大人6名(引率先生)、子ども11名(生き生き教室)
	講師	—
	スタッフ	1名 玉井理恵河川レンジャー
	連携団体関係者	—
	職員	—
	淀川河川事務所	—
	河川レンジャー運営事務局	1名
スケジュール	13:30	開始：DVD上映準備
	14:00	・三輪レンジャーによる「今日の勉強の内容」説明・挨拶
	14:05	・玉井レンジャーによる「淀川の自然環境とイタセンパラ」のDVD上映を まじえてのお話し
	14:25	・引き続き玉井レンジャーによるパワーポイントでの「淀川の整備とワンド の関係」のお話し。
	14:45	・三輪レンジャーによる淀川に生息する魚の保護について
	14:50	・淀川で生息する貝(石貝・二枚貝等)の現物の観察
	14:55	・三輪レンジャーによるイタセンパラの生息状況のお話し
	15:00	終了
配付資料	・淀川の魚たちパンフレット	

関係機関からの支援内容		堀川小学校・・・スクリーンPJ機材、 河川事務所・・・プロジェクター いきいき教室、堀川生涯学習・・・広報
河川レンジャーの活動内容	準備	日程調整、スクリーン使用の会場確保 玉井Rとパワポ内容等検討 資料、体験用具準備 準備物打ち合わせ
	当日	搬入、会場設営、解説、かたづけ 生き生き学級の教諭との今後の活動方針についての打ち合わせ
	事後	機材返却、
参加者からの意見		<p>(後日スタッフより)</p> <p>生き物に関心の高い子と、そうでないことの差はありますが、環境講座も昨年より4回目、回を重ねるたびに、興味を持つ子がふえています。校庭に淀川を作ってみたり、魚の話をする子もありました。</p> <p>今回の本物の大きな貝にはかなりびっくりしたようです。</p> <p>積み重ねが大切だと思いますので、またご協力お願いします。</p> <p>(先生より)</p> <p>下記写真は前回、夏休みに、「淀川のおはなし」勉強会に来て下さった。夕方です。夏休みに限りさせてた運河ごっこです。こんな素晴らしいできは、初めてでした。(しっかり、三川合流、大川も作っていました。)</p> <p>コント淀川さん、とても印象深かったようです。</p>
		

21.2 活動状況



・玉井河川レンジャーによる「淀川の自然環境とイタセンパラ」のお話とDVD上映



・三輪レンジャーによる淀川に生息する魚の保護についてのお話し



・「淀川の整備とワンドの関係」のお話し



・淀川で生息する貝（石貝・二枚貝等）の観察

○石山河川レンジャー（上半期）活動報告

22. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

22.1 活動の目的

1. 国内淡水魚の約 30% が生息する琵琶湖・淀川水系は天然記念物イタセンパラ・アユモドキをはじめ、希少種が多い。だが、流域住民は、淀川の水面下のお宝の存在を知らない。
2. 淀川は山と海を繋ぐ重要な役割を果たしている。大阪湾で蒸発した水が雲となり、雲から生まれた雨が山に注ぎ、里山から淀川、大阪湾へとつながる水の循環を伝え、ヒトを含めた生物の命の脈流を知らしめたい。
3. 淀川の生物多様性の重要性を鑑みると、外来生物を放置しておくことはできないが、流域住民は「特定外来生物」の言葉すら知らないのが現状である。

以上の課題認識から、生活に密着した自然環境の大切さを考え、積極的に自然とふれあい、環境を守る心を育む機会を創るために「淀川水系の生物多様性に関する情報収集と発信」を拡大していくことを活動の目的とする。

22.2 活動の目標

- | | |
|-------|--------------------------|
| Step1 | 確かな生物情報を収集するために学識者と連携強化 |
| Step2 | 水辺の生物情報の発信 & 特定外来生物の啓蒙活動 |
| Step3 | 生物多様性を主軸に行政、他団体との連携強化 |

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行		1 期		2 期
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	①学識者と連携して作成したオリジナル教材を用いて、淀川の淡水魚への関心を高める。 ②淀川水系に棲息する特定外来植物の現状、駆除の状況を団体指導者等と情報交換。	→	→			
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①学識者に執筆いただいた最新情報を発信し、生物相豊かな淀川の魅力を全国にPR。 ②特定外来生物の特徴を理解し、指導者がこどもたちに伝えていけるように促進させる。	→	→	→	→	→
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①イタセンネットやNACS-Jと連携強化し、淀川の生物多様性を保全するため、情報ネットワークを琵琶湖・淀川水系に拡大させる。 ②大阪府安威川ダム建設事務所との連携強化し、ダム周辺の生物多様性の保全に取り組む。	→	→	→	→	→

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
(10) 河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報の発信	淀川自然画報の発行	4・5・7・9・11・1・3月
	特定外来生物ポスターの発行	12月
(8) 川づくり・まちづくりへの参画・支援活動	北摂地域でのネットワークづくり	6・8・10・2月

ジャーの 活動内容	当 日	会場設営、総合司会、ツアーガイド
	事 後	会場片付け、活動報告まとめ
参加者からの意見		<p>○大阪府安威川ダム建設事務所の方々の話を伺って、少し印象が変わりました。それまでは、「ダムをつくる人は、経済的なメリットばかりに囚われている人」という先入観があったのですが、「最大限、環境が変化しないように注意を払っている」という言葉に安堵を覚えました。ダム建設は、もう決定してしまったことです。生態系のことなどを考えると残念なことではありますが、工事に携わっている方々の人となりを見ると、安心していいのか、と感じられました。</p> <p>○参加させていただき有難うございました。感動の連続でした。</p> <p>○中身の濃い現地再訪となりました。ありがとうございました。</p> <p>○どうもありがとうございました。いろいろな人や生き物の思いが安威川にあることをじーんと感じました。</p>

23.2 活動状況



石山レンジャーによる活動趣旨の説明と支援をいただく大阪府の紹介等



立体模型を用いた安威川ダムの概要説明



本体工事前の建設現場の展望、解説



本体工事前に安威川を転流させるバイパストンネル施工現場見学

24. 安威川の生きものを作ってみよう！

・平成27年6月13日（日）

24.1 実施状況

活動名	安威川の生きものを作ってみよう活動		
活動分野	啓発その他		
氏名	毛馬出張所管内 石山郁慧河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：大阪府 安威川ダム建設事務所)		
活動日時	平成27年6月13日（日） 9：30～12：15		
実施場所	(場所) 安威川ダム情報交流センター 		
参加対象	安威川流域の住民を中心に生物多様性に興味のある方		
参加人数	参加総数	21名	
	参加者	16名	大人14名、子ども2名
	講師	1名	岐阜大医学系研究部解剖学分野非常勤講師 小村一也氏
	スタッフ	1名	川いい会
	連携団体関係者	2名	大阪府安威川ダム建設事務所 松原信主査 他1名
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	

スケジュール	9:30 10:10 10:13 10:30 10:40 12:00 12:15	開始：受付開始 ・石山レンジャーによる本日の活動の説明 ・安威川ダム建設事務所 松原信主査による安威川ダムモザイクを用いてダム建設についての概要説明 ・講師の紹介に続き小村講師によるペーパークラフトの作り方の説明 ・クラフトの作成開始 ・石山レンジャーにおける活動の総括 後片付け：終了
配付資料		・安威川上流の動植物と歴史案内冊子 ・安威川ニュース（V o 1. 2） ・水辺の生き物 100 選 ・淀川自然画報（2015 年 5 月号）N o. 13 ・安威川ダム周辺プランワークショップチラシ
関係機関からの支援内容		・NPO 法人 nature works（ハサミ・カッター・カッティングマット 30 人分貸し出し） ・人を自然に近づける川いい会（ポカス貸し出し・受付スタッフ 1 名） ・きんき環境館等の ML による告知
河川レンジャーの活動内容	準備	事業プランニング，資料作成，広報メーリング
	当日	会場設営，司会進行および安威川流域の生物の基本情報提供
	事後	会場の片付け
参加者からの意見		・生きものを捕ったり観察したりするのも楽しいが、紙で作ることにより生物の構造を知るの面白いと思いました。 ・親子で楽しめるこのような講座をもっとやってほしいです。大正川にも参加したいと思いますので、よろしく願いいたします。 ・新しい発見だらけでした(^) ありがとうございました。 ・ありがとうございました。おつかれさま。大阪からの参加者は午前午後たっぷり楽しんでもらえました。切り絵は簡単にできそうなのに、ここ一番満足なしあげにするには、お稽古が必要ですね。

24.2 活動状況



・石山レンジャーによる活動の内容説明



・安威川ダム建設事務所松原氏によるダム建設の概要説明



・小村講師によるクラフト作成のための実演説明



・参加者におけるクラフト作成体験状況

25. 自然楽習会 in 大正川

・平成 27 年 8 月 2 日(日)

25.1 実施状況

活動名	自然楽習会 in 大正川		
活動分野	自然観察		
氏名	石山 郁慧 (毛馬出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名: 茨木市、環境ネットいばらき、和亀保護の会、人を自然に近づける川いい会、NPO 法人 nature works)		
活動日時	平成 27 年 8 月 3 日(土) 9:30~11:30		
実施場所	茨木市立天王小学校前・大正川 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	106 名	
	参加者	78 名	大人 36 名、子ども 41 人
	講師	—	
	スタッフ	18 名	環境ネットいばらき、和亀保護の会、人を自然に近づける川いい会、NPO 法人 nature works
	連携団体関係者	4 名	※講師兼任 環境ネットいばらき、和亀保護の会、人を自然に近づける川いい会、NPO 法人 nature works
	府県・市職員	5 名	茨木市 (環境政策課)、大阪府 (安威川ダム建設事務所)
	淀川河川事務所	—	
河川レンジャー運営事務局	1 名		
スケジュール	9:30	開始 ・河川レンジャー挨拶、活動趣旨説明、注意事項説明	
	9:40	大正川の生きもの採取 ・たも網による採取 ・投網による採取	
	10:40	採取した生き物の同定、解説	
	11:10	茨木市で活動する和亀保護の会による、大正川に生息する和亀の生態及び外来亀などの解説	
	11:30	全体のまとめ 終了	
配付資料	情報誌「いばらき いきものウォッチ」「安威川フリーダム」		
関係機関からの支援内容	○NPO 法人 nature works (漁具・タープ) ○人を自然に近づける川いい会 (漁具・観察ケース・農学博士 1 名と理学博士 1 名の派遣) ○茨木市 (ホワイトボードセット) ○大阪府 安威川ダム建設事務所 (運営補助)		

河川レンジャーの活動内容	準備	事業プランニング、資料作成、講師依頼
	当日	生物の事前捕獲、会場設営・片付け、総合司会、安全管理、捕獲種のリリース（在来種）および駆除（特定外来生物）
	事後	活動報告まとめ
参加者からの意見		<p>○毎年やっているのを知りませんでした。たくさんの魚が捕れて面白かったです。来年も親子で参加したいと思っています。</p> <p>○お疲れ様でした。。ありがとうございました。久しぶりのガサで、好きなことは楽しいです。</p> <p>○大正川の生き物たちにたくさん出会えた。年ごとに捕獲できる魚類の傾向が変わるのがとても興味深い。今年は今まであまり見られなかったカネヒラが多く、カダヤシはほとんどいない。何故なのか、理由を説明するのは難しいらしい。</p> <p>暑かったが、スタッフさんが熱中症への注意喚起も十分されていたし、初めて川に入る子供たちへのフォローもしっかりなさっていた。参加者はみんな安心して楽しい時間を過ごせたはずである。石山さん、スタッフの皆さん、お疲れさまでした&ありがとうございました。</p> <p>○投網技見たさにお邪魔しましたらこんな立派な催しで驚きました。飛び入りでしたのに快く色々説明下さり有難うございました。</p>

25.2 活動状況



石山レンジャーによる活動趣旨の説明と注意事項説明



大正川の生き物採取状況①



大正川の生き物採取状況②

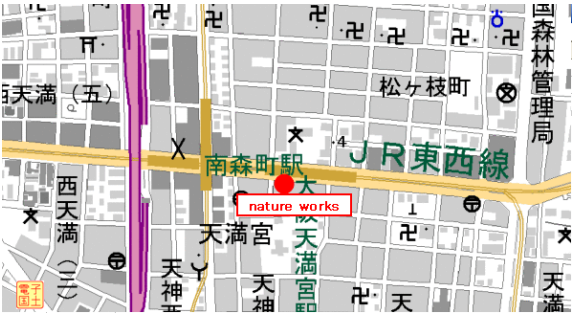


採取した生き物の同定と解説

26. 情報誌「淀川自然画報」の発行

・平成 27 年 5 月～平成 27 年 9 月

26.1 実施状況

活動名	情報誌「淀川自然画報」の発行 No.10～No.11																																																								
活動分野	啓発その他																																																								
氏名	石山 郁慧（毛馬出張所管内河川レンジャー）																																																								
連携等																																																									
活動日時	No.13 平成 27 年 5 月 15 日(金) No.14 平成 27 年 7 月 15 日(水) No.15 平成 27 年 9 月 15 日(火)																																																								
実施場所	NPO 法人 Nature Works（大阪市北区天神橋 2 丁目 5-18 南森町センタービル 402 号） 																																																								
	○河川レンジャーホームページにて掲載【 http://www.river-ranger.jp/ 】																																																								
スケジュール	奇数月の 15 日に発行																																																								
配付資料	なし																																																								
関係機関からの支援内容	執筆いただいている皆様・・・原稿と写真の提供 NPO 法人 nature works・・・イラストの貸出・編集作業の指導 人を自然に近づける川いい会・・・現場情報の協力 毛馬出張所・・・活動で配付する際の印刷																																																								
河川レンジャーの活動内容	準備	発行 1 ヶ月前に執筆の依頼，編集作業，HP2 ヶ所へのアップ依頼																																																							
	当日	発行のご案内を関係各位にメール，フェイスブックへの掲載																																																							
	事後	編集内容の見直し																																																							
備考	●「淀川自然画報」河川レンジャーHP、PDFへのアクセス状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>号数</th> <th>レンジャーHPへの掲載日</th> <th>ページ</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>No.13 (2015年5月号)</td> <td>H27.5.14</td> <td>(一式)</td> <td>62</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>No.14 (2015年7月号)</td> <td>H27.7.14</td> <td>(一式)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>86</td> <td>45</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>No.15 (2015年9月号)</td> <td>H27.9.10</td> <td>(一式)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>78</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総計</td> <td>62</td> <td>15</td> <td>95</td> <td>54</td> <td>97</td> <td>39</td> <td>35</td> <td>397</td> </tr> </tbody> </table>		号数	レンジャーHPへの掲載日	ページ	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	No.13 (2015年5月号)	H27.5.14	(一式)	62	15	9	9	7	10	7	119	No.14 (2015年7月号)	H27.7.14	(一式)	-	-	86	45	12	13	19	175	No.15 (2015年9月号)	H27.9.10	(一式)	-	-	-	-	78	16	9	103	総計			62	15	95	54	97	39	35	397
号数	レンジャーHPへの掲載日	ページ	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計																																															
No.13 (2015年5月号)	H27.5.14	(一式)	62	15	9	9	7	10	7	119																																															
No.14 (2015年7月号)	H27.7.14	(一式)	-	-	86	45	12	13	19	175																																															
No.15 (2015年9月号)	H27.9.10	(一式)	-	-	-	-	78	16	9	103																																															
総計			62	15	95	54	97	39	35	397																																															

池田自然史博物館

◆ 観・頂 ◆

前回は、淀川で生態系の「頂点」に位置する猛禽類として『ミサゴ』を紹介しました。『ミサゴ』は主に『コウノトリ』や『ホウオウ』などの大型の鳥類をエサとするため「魚鷹（うおたか）」の異名があります。

今回紹介する『チョウゲンボウ』も『ミサゴ』と同じ生態系の「頂点」に位置する猛禽類ですが、魚鷹ではなく平ズミやメダカ、トウゴウ等の小動物の小動物類、昆虫類などをエサにします。猛禽類の中では小型で、体長はオスが33cm、メスは30cm程度で、オスではほぼジバト並みの大きさです。

かつては湖沼の橋や岩棚、樹洞に営巣していましたが、近年では都市部のビルや屋敷、高層ビルなどの人工物に営巣をしたり、むくむくとする事が増えてきました。淀川中・下流部の河川敷や河川公園は、『チョウゲンボウ』の大好物の餌の場所となっています。堤防の脇に林立するマンションやビルにあって「狩場」を創りながら、獲物を見つけたと一瞬に飛び出して急降降しながら獲物を捕らえます。その場が安全であれば、捕らえた獲物を食べることが多くなります。

淀川の上や河川敷を歩く機会があれば、堤防沿いのビルや、河川敷に生えている樹木等を注意して観察してみてください。もしかすると羽を休ませ、『チョウゲンボウ』に出逢えるかもしれません。さらに運が良ければ、カッパルでも見えます。その他『ハイタカ』や『ハヤブサ』などの猛禽類も。

一般的に「トビ」を思い、猛禽類にはなかなかお目に見られないというイメージがあると思いますが、静かな中にも大規模な河川敷などの環境を有する淀川には、上手に人間の建物を利用して営巣者が数多く見られます。



チョウゲンボウ
Falco tinnunculus



環境省 環境カウンセラー
NPO法人 nature works
池田 哲哉

来た・見た・聞いた 淀川雑記帳

7月に「熊の木」を見た、観察はそんなに出来ないのに熊の木の存在と位置し、まるで真逆状態。熊の木に手を分る分る分るが、3時間ほど見てはみた。8月の終わりに、もう一度見てみた。森の中はツツクボウシの音も聞こえる。ツツクボウシ「ワオシッ」と鳴くと、遠くからツツクボウシが聞こえて、熊の木の音が聞える。

だが、熊の木は熊の木のそばに、熊の木はツツクボウシの音も聞こえる。熊の木はツツクボウシの音も聞こえる。熊の木はツツクボウシの音も聞こえる。熊の木はツツクボウシの音も聞こえる。

発行責任者 淀川管内河川レンジャー・石山郁恵

淀川自然画報

2015年9月号 No.15

淀川水系の生物多様性を
見る・知る・楽しむ
生きものシグナル

YODOGAWA SHIZEN GAHO

水辺の博物館誌



フグ毒をもつ井の守り主 アカハライモリ *Cynops pyrrhogaster*

ニホンイモリの別名がある日本固有種のアカハライモリは、サンショウウオ科に属しますが皮膚がガザザザしていること、鮮やかな赤色と黒い斑の模様で容易に見分けことができます。この赤い斑は毒を有することを知らせる警戒色。フグ毒(テトロドトキシン)をもっているため、触れた後にうがうが目をこすったりしたら大変です。また、背骨動物の中ではよくに再生能力がある。切れた尾は骨まで再生します。名の由来は「井の水田」・井(い)を守るからだとされています。淀川水系の流入河川や湖沼の水域で、かつては普通に見ることができましたが、今は里山を渡る川や池まで減少し始めていることがありません。(編/三好野郎)

発行責任者 淀川管内河川レンジャー・石山郁恵

多種多様、淡水魚たちの生態と生活史 淀川水系魚類名鑑

青少年自然博物館 横山 達也

シマドジョウ *Cobitis biwa*

シマドジョウは、コヒドジョウ科の日本固有種で、主に山間部や河川中流部に生息する淡水魚です。山間部や河川中流部に生息する淡水魚です。山間部や河川中流部に生息する淡水魚です。山間部や河川中流部に生息する淡水魚です。





シマドジョウは、コヒドジョウ科の日本固有種で、主に山間部や河川中流部に生息する淡水魚です。山間部や河川中流部に生息する淡水魚です。山間部や河川中流部に生息する淡水魚です。山間部や河川中流部に生息する淡水魚です。

花想鳥感 四季折々、水辺の生物多様性

鳥類学研究会 高田 みちよ

渡るタカ サシバ

「鷹(たか)はしら」という言葉を聞き覚えがあるでしょうか。秋の季節にもなっているこの言葉は、日本に繁殖したサシバやハチクマなどのタカが、秋に渡る際の姿を表現したものです。タカは上空を飛翔して狩りを行い、羽を高くしてからの着陸を行います。着陸しながら少しづつ高度を下げ、また上空を飛翔して狩りを行い、高度を上げていきます。地上からの上空を飛翔する姿は、それを利用しているサシバの姿に似ています。多い時は数十羽のタカが渡ります。

9月～10月、大層の上空を多量のタカが通過しています。多くは北陸山脈の上空を飛翔してあり、羽が白く西へ飛翔している姿を観察することもできます。2014年の渡りでは、鳥類学研究会の観察記録によると762羽のタカがカウントされました。観察の観察結果によると9月上旬はハチクマ、下旬はサシバ、10月に入るとノスリの数がピークに達します。このカウント調査は全面的にボランティアによって毎年行われ、観察結果が蓄積されています。みなさんも一緒に観察の姿を見つけてみてください。西へ渡っていくタカの姿が見られるかもしれません。

写真提供/池田哲哉

the waterside

水辺の虫眼鏡

川辺の水生生物の魅力的な生態
環境省 環境カウンセラー 川島 大助

イシビルの仲間

ヒルといえど、人の血を吸う(=ヒルイビル)イビルをワカチも多いと思います。淀川でも川原の石を覆って生きる石に似ているイビルをよく見かけますが、その仲間には人には遠く離れた(=血を吸わない)イシビルの仲間もいます。

イシビルの仲間、体色は黄緑色、背中に黒い線が走り、大きな口を開くと、水の中を泳ぐ姿が、まるで水の中を泳ぐかのように見えます。また、水がなくなると川原に這って生きることもできるようです。肉食性で魚類など大型動物の死骸や水生昆虫、イトムシなどを捕食することから、本種はハラスのようになった生態系を維持していく上で、重要な役割を担っていると考えられています。

淀川では本種やワカチの仲間が、石の上を這うと、石に覆ったイシビルを容易に捕らえることができます。人の血を吸うことはありません。魚類の死骸を食べるイシビルの仲間、イシビルの仲間をぜひ観察してみてください。



手の平にのせておくと、水の中央に落とすと、水の中を泳ぐように見えます。

the sky & land

侵略的外来生物 淀川ワースト100

チメドリ科 ソウシチョウ *Leiothrix lutea*

淀川管内河川レンジャー 石山 郁恵

全長約15cm。スズメより少し大きい。オスとメスで、大きな羽の模様や色合いが異なる。美しい羽模様を特徴とするため、江戸時代頃からペットとして輸入・飼育されてきたとされている。化製品の「うさぎの卵」の代用品として利用されるため、大規模な繁殖もみられる。だが、繁殖力が強いという特徴があり、ペットとして輸入された後、ペットとして飼われていたものが逃げたり、特定外来生物指定後に業者が逃がしたものが野外に定着。森の中や農地やスズメ、コウノトリ、コウノトリ、ウグイスなどと同様に繁殖を遂げる。最近では、北陸地域でもよく目撃されている。

写真提供/池田哲哉

under the water

the worst 100

AN INVADER

27. 環境フェアいばらき出展

・平成27年5月～平成27年9月

27.1 実施状況

活動名	環境フェアいばらき出展		
活動分野	啓発その他		
氏名	石山郁慧（毛馬管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 （団体名：NPO法人nature works、人を自然に近づける川いい会）		
活動日時	平成27年10月17日(土)～18日(日) 10:00～16:00		
実施場所	<p>【会場】茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）</p> 		
参加対象	一般		
参加人数	参加総数	303名	
	参加者	300名	
	講師	—	
	スタッフ	3名	Nature works 2名、川いい会 1名
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	10:00	開始 ○特定外来生物ポスター展示・解説 ○安威川の水生昆虫標本展示 ○「淀川自然画報」配付・解説 ○水辺の生きものスケッチ指導 ○いばらき環境フェア出展者連携クイズラリー「特定外来生物クイズ」	
	16:00	終了	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ○「いばらき自然再発見!! 水辺の生き物」(茨木市) ○淀川自然画報 ○河川レンジャーNews 		
関係機関からの支援内容	<p>【淀川河川事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぼり、レンジャーNews 提供 <p>【NPO 法人 nature works】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ貸出 <p>【人を自然に近づける川いい会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境カウンセラー・きんき環境館等のMLによる告知 		

河川レンジャーの活動内容	準備	事業プランニング、資料作成、広報メーリング、ブース設営
	当日	○出展ブース運営（ブース来訪者への展示物解説、スケッチコーナーでの指導） ○ブースの片付け
	事後	○報告とりまとめ
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・外来種が茨木市にもたくさんいると知って驚きました。セアカコケグモは公園のベンチ下などにも注意して、こどもを遊ばせたいと思います。（幼児連れ母親） ・水生昆虫の標本がおもしろかったです。写真や絵でなく、実物を見ると、虫好きのこどもが食いついているのがよくわかります。（小学生の父親） ・川で泳いでいた動物をカワウソノとっていましたが、ヌートリアだったんですね。噛まれるとケガをするだけでなく、感染症がコワイとは思いませんでした。（初老男性） ・お疲れ様です。すごく短い間でしたがお邪魔しました。忙しいなか、場を設けていただきありがとうございます。しっかり考えていきます…。（フェイスブックより、特定外来生物の駆除について相談にきた青年）

27.2 活動状況



出展ブース全景



水辺のスケッチ指導



特定外来生物ポスター解説等



安威川の水生昆虫標本

○新里河川レンジャー（上半期）活動報告

28. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

28.1 活動の目的

下流域の河川は、都市計画道路の予定地が川へのアプローチを遮断したり、治水上の課題が優先され、親水性の損なわれた護岸などの河川もあり、人と川との関係性が希薄になっている現状があります。

防災パネル展や水辺や川の生き物調査、水辺のクリーン活動、E ボート体験など川と触れ合う機会や、上・中・下流域の様々な課題を共有しあうこと通じて、市民の川への関心を高め「愛着の持てる川」を目指します。

28.2 活動の目標

Step1 野鳥観察会や生き物調査、クリーン活動、E ボート体験などを実施する

Step2 これまでの活動の定着化と地域・NPO 団体などの参画を促し、幅広い層からの協働作業になる取組を目指します。

Step3 川のワークショップなどの開催をめざし、地域への定着化を目指すとともに、担い手の育成などにも取り組む。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1 期		2 期	
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	①生き物調査					
	②E ボート体験					
	③地引網で生き物調査					
	④ヨシ笛実演					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①水辺のクリーン活動					
	②地引網で生き物調査、防災パネル展					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①ワークショップの開催					
	②防災、治水、環境など川に関する勉強会の開催					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
河川の環境保全を図る活動	地引網で生き物調査	4・11月
	大川クリーン活動&川に学びつながる	5月
	ヨシ笛の実演	10月
	野鳥観察会	1月
	ヨシ原保全活動	2月
	E ボート体験&川の交流会	11月
河川の適正な利用の推進を図る活動	河川敷安全パトロール	6・9月
防災・救援・救難の推進を図る啓発活動	淀川治水の歩み パネル展	8月
節水意識の普及・啓発活動	「水は誰のもの」DVD 上映会&ワークショップ	7月

29. 大川クリーン活動&川に学びつながら活動

・平成27年5月23日(土)

29.1 実施状況

活動名	大川クリーン(川で学び・つながる)活動		
活動分野	河川美化・自然観察・水利用等		
氏名	毛馬出張所管内 新里嘉孝河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名: 摂南大学、大阪市城陽中学科学技術部、NPOエコネット近畿、NPO釣り文化協会、 連合水都地区協議会、ねや川水辺クラブ、ダイキン工業労組本社支部、NPO水政策 研究所、大阪ふれあいの水辺ワークショップ、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、 大川の環境改善を促進する会、おお川水辺クラブ、淀川愛好会)		
活動日時	平成27年5月23日(土) 9:00 ~ 12:20		
実施場所	(場所) 帝国ホテル大川沿い(大川右岸)~大阪ふれあいの水辺(大川左岸)周辺 		
参加対象	地域住民・団体(地域団体・学校・行政・企業など) (団体名: おお川水辺クラブ)		
参加人数	参加総数	66名	
	参加者	54名	大人38名、子ども16名 (内大阪市城陽中学生13名)
	講師	2名	澤井先生・河合典彦先生
	スタッフ	9名	淀川愛好会 2名 大川水辺クラブ 7名
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	開始: 帝国ホテル前大川公園集合・受付開始	
	9:30	・淀川愛好会澤井会長の挨拶	
	9:38	・新里河川レンジャーによる挨拶および本日の活動内容と注意事項の説明	
	9:45	・大川右岸を2班に分かれて、ゴミ拾いの開始	
	10:40	・ゴミ拾いの終了、対岸のふれあいの場へ移動し、Eボートの体験場所に集合	
	10:50	・Eボートの説明と体験試乗会(3回実施対象人数10名×3回=30名)	
	11:15	・河合先生による投網での魚の捕獲実演	
	11:48	・河合先生による捕獲した魚の解説(外来種と在来種などのお話し) ・魚合わせ	
12:05	・質疑応答		
12:20	後かたづけ: 終了		
配付資料	・大川クリーン活動チラシ		
関係機関からの支援内容	○大阪府西大阪治水事務所: 河川一時使用許可、大阪ふれあいの水辺占有許可 ○大阪市: 公園内車両進入許可、集積ゴミの収集・処分		

		<ul style="list-style-type: none"> ○淀川河川事務所：のぼりなどイベント関係用具一式、清掃用具 ○エコネット近畿：清掃用具 ○おお川水辺クラブ：河川清掃用具、ハンドマイク、水槽など各種備品提供、荷物搬出入 ○摂南大学：E ボート、生物調査用具一式 ○三菱地所：OAP プラザ広場占有許可、臨時特設駐輪場設置及び標識の掲示、警備誘導
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関への手続き ・活動資材などの手配 ・地域・各種団体などへの参加要請（案内） ・各種団体、関係者への案内の mail 配信各種調整
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・備品搬出入 ・支援団体、関係機関との連絡調整 ・活動事前ミーティング ・活動総指揮 ・活動総括など
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・各種調整 ・関係機関への報告など ・活動資材などの搬出入 ・地域・各種団体などへの報告
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・宣伝が速いともっと人が集まったのでは。」 ・とても充実した取組みだった。 ・次年度も参加させていただきます。 ・楽しみながらクリーン活動が出来た事はとてもよかった

29.2 活動状況



・新里レンジャーによる本日の活動内容と注意事項の説明



・大川河川敷の清掃(ゴミ拾い)状況



・E ボート試乗体験状況「



・河合講師による捕獲した魚の説明

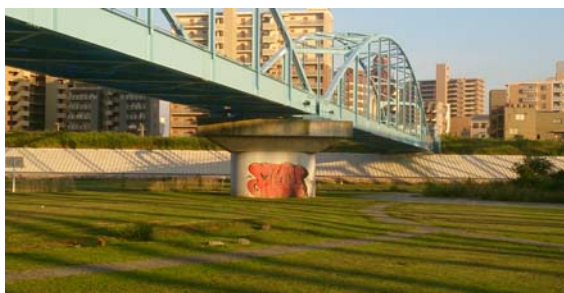
30. 河川状況調査

・平成27年6月29(月)～30日(火)

30.1 実施状況

活動名	河川安全パトロール		
活動分野	防災		
氏名	毛馬出張所管内 新里嘉孝河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名: おお川水辺クラブ)		
活動日時	平成27年6月29～30日		
実施場所	(場所) 淀川左岸(毛馬～中津地先)		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	2名	
	参加者	—	
	講師	—	
	スタッフ	2名	大人2名
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所 河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	15:00	開始	
	17:00	・毛馬から中津へかけて安全パトロールを実施(両日とも2人)	
	19:00	・途中危険箇所や障害物、不法投棄などをデジカメにて記録 終了	
配付資料	なし		
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所毛馬出張所のぼり		
河川レンジャーの活動内容	準備	・実施場所地図にて確認	
	当日	・地図にて実施場所確認、 ・デジタルカメラにて記録	
	事後	・実施場所の確認と記録写真の整理	
参加者からの意見	特になし		

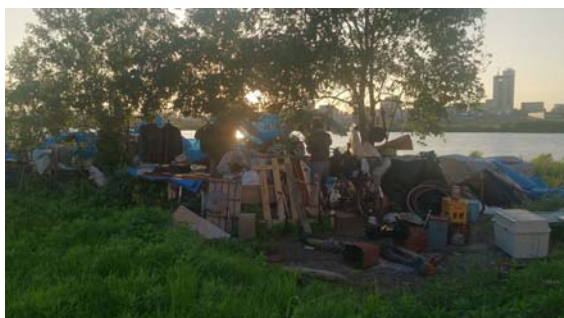
30.2 活動状況



パトロール状況（橋脚の落書き）



パトロール状況（橋脚の落書き）



パトロール状況（河川敷（水際）のブルーテント）



パトロール状況（不法投棄）

31. 「水は誰のものか」DVD 上映とワークショップ ・平成 27 年 7 月 31 日（金）

31.1 実施状況

活動名	「水は誰のものか」DVD 上映とワークショップ活動		
活動分野	啓発その他		
氏名	毛馬出張所管内 新里嘉孝河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：おお川水辺クラブ)		
活動日時	平成 27 年 7 月 31 日（金） 18:00～19:30		
実施場所	（場所）大阪市北区天神橋 5-8-3 おお川水辺クラブ事務所		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	7 名	
	参加者	6 名	大人 6 名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	18:00	開始 ・受付 ・新里レンジャーによる本日の活動の趣旨説明	
	18:35	・「水は誰のもの」と題して DVD の上映	
	19:00	・新里レンジャーのコーディネーターによる「水に関する」ワークショップの開始 ○テーマ「水に関する意識を変える」、「バーチャルウォーターによる日本の水供給」、「水の民営化」等	
	19:30	終了	

配付資料	「水と衛生に関する拡大パートナーシップ・イニシアティブ」(英語名:WASABI)の冊子配布(外務省国際協力局編集)	
関係機関からの支援内容	外務省国際協力局地球規模課題総括課より「水と衛生に関する拡大パートナーシップ・イニシアティブ」(英語名:WASABI)の提供	
河川レンジャーの活動内容	準備	ワークショップの企画、DVDの選定と借用(おお川水辺クラブ)、プロジェクターなどの機材設置の調達、各種団体との調整、集客の広報活動、SNSやメールでの案内
	当日	プロジェクターなどの機材設置、資料配布、DVD上映、ファシリテーター
	事後	プロジェクターなどの機材及びDVDの返却
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップに参加し、国際河川など日本では思いもよらないことが世界で起きていることに気づかされた。 ・国際河川では水資源をめぐる様々な緊張感があることが分かった。 ・日本は食物自給率が低く、間接的に水を大量に輸入(バーチャルウォーター)している国であることを思い知らされた。 	

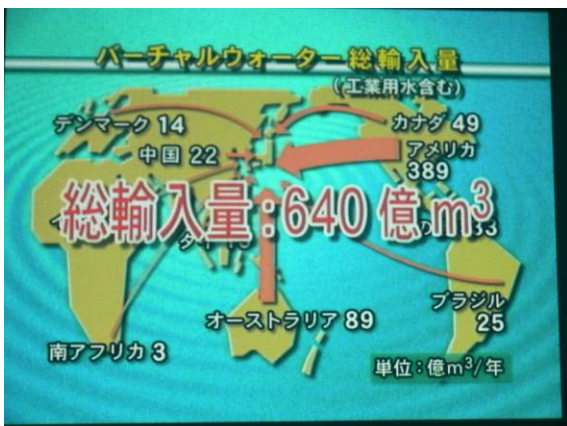
31.2 活動状況



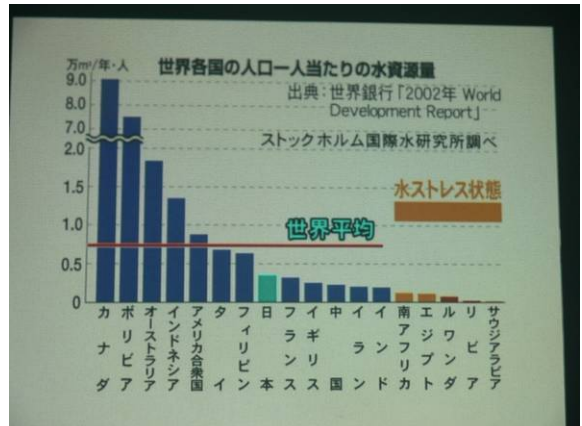
・新里レンジャーによる挨拶及び活動の趣旨説明



・参加者による水に関するワークショップ状況



・「水は誰のもの」DVD上映
(バーチャルウォーター総輸入量)



・「水は誰のもの」DVD上映
(世界の人口1人当たりの水資源)

32. パネル展「淀川治水のあゆみ」

・平成 27 年 8 月 3 日(月)～7 日(金)

32.1 実施状況

活動名	「淀川治水のあゆみパネル展」活動		
活動分野	啓発その他		
氏名	毛馬出張所管内 新里嘉孝河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：おお川水辺クラブ)		
活動日時	平成 27 年 7 月 31～7 日 (月～金) 9:00～17:00 (7 日のみ 12:00 まで)		
実施場所	(場所) 大阪市北区役所市民プラザ 		
参加対象	地域住民・団体(地域団体・学校・行政・企業など) (団体名： おお水辺クラブ)		
参加人数	参加総数	266 名	
	参加者	当日計	110 名
		8/3	大人 85 名、子ども 25 名
		8/4	大人 27 名、子ども 3 名
		8/5	大人 40 名、子ども 8 名
		8/6	大人 39 名、子ども 1 名
		8/7	大人 30 名、子ども 5 名
	講師	—	
	スタッフ	2 名	おお川水辺クラブ
	連携団体関係者	—	
府県・市職員	—		
淀川河川事務所	—		
河川レンジャー運営事務局	1 名		
スケジュール	9:00	開始： 会場開庁	
	9:01	・会長に伴い地域住民の方にパネル展示の閲覧開始	
	17:00	閉庁に伴う終了 (最終日の 7 日のみ 12:00 終了)	
配付資料	・レンジャーニュース No. 30、No. 31、No. 32 ・毛馬施設のご紹介パンフ ・北区防災マップ		
関係機関からの支援内容	大阪市北区役所：フロアーの提供、パネル掲示棚などの提供、広報 (管内放送他) (一社) 近畿建設協会：パネルの貸出 おお川水辺クラブ：パネル展示手伝い		

河川レンジャーの活動内容	準備	関係機関との調整、張り紙看板作製、北区区役所とフローレイアウトの確認と掲示板借用手配及び調整、パネルの選定と貸出など手配、
	当日	パネル展案内看板（張り紙）の掲示、パネル展示フロアのレイアウトとの確認とパネルの展示ケースの移動及びパネル展示、レンジャーニュースなど配布物の設置、管内放送の調整と実施
	事後	パネルの撤去と運搬、配布物の回収、広報張り紙などの撤去、
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・淀川の歴史や治水の歩みについて知ることができ防災意識が高まった。 ・もっと大々的に広報活動をしてはどうか。 ・「防災マップ」が役に立ちそうです。ありがとうございます。

32.2 活動状況



・淀川治水の歩みパネル展受付状況



・展示状況



・展示状況



・展示状況

33. 河川状況調査

・平成27年9月27日(日)

33.1 実施状況

活動名	河川安全パトロール		
活動分野	防災		
氏名	毛馬出張所管内 新里嘉孝河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名: おお川水辺クラブ)		
活動日時	平成27年9月27日		
実施場所	(場所) 淀川左岸(毛馬～中津地先) 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	2名	
	参加者	—	
	講師	—	
	スタッフ	2名	大人2名
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所 河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	15:00	開始	
	17:00	・毛馬から中津へかけて安全パトロールを実施(両日とも2人)	
	19:00	・途中危険箇所や障害物、不法投棄などをデジカメにて記録 終了	
配付資料	なし		
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所毛馬出張所のぼり		
河川レンジャーの活動内容	準備	・実施場所地図にて確認	
	当日	・地図にて実施場所確認、 ・デジタルカメラにて記録	
	事後	・実施場所の確認と記録写真の整理	
参加者からの意見	特になし		

33.2 活動状況



パトロール状況（ガードパイプの破損）



パトロール状況（不法投棄）

34. 大川地引網

・平成27年10月12日(月・祝)

34.1 実施状況

活動名	地引網で生物調査		
活動分野	自然観察		
氏名	新里 嘉孝 (毛馬出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出席等 (団体名：府水生生物センター、西大阪治水事務所、大阪市(環境局、都島区役所)、大阪府河川室、大阪府都市魅力創造局、おお川水辺クラブ)		
活動日時	平成27年10月12日(月・祝)10:00~15:00		
実施場所			
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	353名	
	参加者	319名	午前189名、午後130名
	講師	5名	(新里レンジャー、水生生物センター2名、大阪市環境局2名)
	スタッフ	2名	
	連携団体関係者	5名	おお川水辺クラブ5名
	府県・市職員	21名	府水生生物センター2名、同サポートスタッフ6名、西大阪治水事務所3名、生物調査コンサル5名、大阪市3名(環境局2名、都島区役所1名)、大阪府河川室2名、大阪府都市魅力創造局企画・観光課2名
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	スタッフ集合とミーティング、物品搬入とセッティング	
	9:30	参加者受付、	
	10:00	開始：開会あいさつ新里河川レンジャー、スタッフの注意事項、レンジャーから周辺の川の話、水質パックテスト	
	10:20	みんなで地引網、水質パックテスト、レンジャーから周辺の川の話	
	11:30	スタッフから魚の説明、アンケートの記入	
	12:30	午後の部開始、レンジャーから周辺の川の話、水質パックテスト、みんなで地曳網、アンケートの記入	
	14:30	終了、解散、後片付け	
配付資料	レンジャー活動告知チラシ(レジュメ：担当レンジャー作成)、大阪の淡水魚(ポスター：大阪府作成)		
関係機関からの支援内容	おお川水辺クラブ：連絡調整、広報全般、備品調達・運搬、レンジャー補助。水生生物センター：地曳網一式。大阪市環境局：水質検査用具並びにパックテスト一式、大阪府西大阪治水事務所：テント、テーブル、チラシ作製と配布		
河川レンジャーの活動内容	準備	行政始め各団体との連絡調整、広報全般、備品の調達と運搬	
	当日	備品の搬出入、スタッフミーティング、開会あいさつ、川の歴史・地理など全般及び生物多様性などについて解説、約15分~20分計6回実施。参加者からの質疑応答など。	
	事後	行政始め各団体との連絡調整など。資料整理及び活動報告作成。	
参加者からの意見	大人にも子供にも大変為になった。広報の充実、参加枠の拡大などの要望。		

34.2 活動状況



地引網体験状況



大川の生物環境について現地説明



河川レンジャーから川の活動について解説



パックテストによる大川の水質測定

35. 北区民カーニバル出展

・平成27年10月18日(日)

35.1 実施状況

活動名	北区民カーニバル出展 ヨシ笛づくり、パネル展示		
活動分野	広報		
氏名	新里 嘉孝 (毛馬出張所管内河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名: おお川水辺クラブ)		
活動日時	平成27年10月18日(日)8:30~16:30		
実施場所	大阪市北区扇町公園: 大阪市北区扇町1丁目		
参加対象	地域住民 (カーニバルには述べ4万人来場)		
参加人数	参加総数	116名	(ヨシ笛作成体験者数、パネル展示など来場者約800人)
	参加者	110名	大人約30名、子ども約80名
	講師	1名	
	スタッフ	2名	原田、新里、
	連携団体関係者	2名	おお川水辺クラブ2名
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	10:00	開会: ヨシ笛づくりの実演、指導	
	11:00	チラシ配布、ヨシ笛づくり: 保護具を付けカッターナイフで	
	13:00	交互に休憩し、引き続きヨシ笛づくりの実演、指導	
	16:00	ブース撤収	
	16:30	終了、物品の撤収と運搬、解散	
配付資料	河川レンジャーNews、告知チラシ(レジュメ: 担当レンジャー作成)		
関係機関からの支援内容	大阪市コミュニティー協会北区支部協議会: ブース(椅子、机、看板提供)、		
河川レンジャーの活動内容	準備	ヨシ笛部材の調達・準備:刈取、運搬、乾燥、選別、手入れ、切取など。パネル展示などの企画、作成、運搬。チラシの作製。ヨシ笛実演用具など物品の調達、運搬など。連携団体との連絡調整など。	
	当日	物品の搬出入、パネル展示物のセッティング、ヨシ笛実演用具の配置。連携団体との連絡調整など。ヨシ笛の実演・指導。ヨシ原の解説など。チラシの配布。	
	事後	連携団体との連絡調整。大阪市コミュニティー協会北区支部への活動報告と出展ブース代金の精算など。活動報告作成など。	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 初めての体験で、実際にヨシ笛を作成しながら、河川環境などについて学ぶことができ、子供にも大人にも良く理解ができた。 パネル展示は写真に解説が付き大変分かりやすい。 子供向け(小学校低学年用)のパネルもあればもっと分かりやすいかも。 		

35.2 活動状況



展示ブース準備



展示ブース全景



ヨシ笛工作体験
(保護具をつけてカッターの使用)



ヨシ笛工作体験
(ヨシ笛を鳴らしてみる)

○辻川河川レンジャーアドバイザー（上半期）活動報告

36. リバーウォッチャー淀川探検隊

・平成 27 年 5 月 18 日（月）

36.2 実施状況

活動名	リバーウォッチャー淀川探検隊活動		
活動分野	自然観察		
氏名	辻川松子河川レンジャーアドバイザー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：大阪市立野中小学校)		
活動日時	平成 27 年 5 月 18 日（月）12：30 ～16：00		
実施場所	(場所) 淀川右岸十三干潟		
参加対象	団体(学校) (団体名：野中小学校児童)		
参加人数	参加総数	69 名	
	参加者	56 名	大人 3 名、子ども 53 名 (校長・引率者教諭 2 名)
	講師・運営	1 名	辻川河川レンジャーアドバイザー
	スタッフ	11 名	淀川区役所市民協働課職員 4 名、保護者他 2 名 地域協力者 5 名
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	12：30	開始： スタッフ集合、スタッフミーティング	
	13：00	・ 辻川レンジャーアドバイザーによる挨拶と本日の活動の内容のお話し	
	13：03	・ 野中小学校大野忠司校長の挨拶	
	13：05	・ 野中小学校出発 (淀川十三干潟へ向かって)	
	13：35	・ 淀川に到着 (淀川堤防の法面において辻川河川レンジャーアドバイザーによる淀川のお話し)・干潟・汽水域・の生き物について、西中島河川公園と自然について、水質・ゴミについて・津波災害等について	
	14：15	・ 淀川十三干潟において干潟の生き物調査 (カニ・シジミ採り他)	
	15：00	・ 淀川十三干潟での観察会の終了	

	15:30 15:00	・帰校準備（足洗い・着替えなど）、帰校 野中小学校到着：終了
配付資料		<ul style="list-style-type: none"> ・27年野中リバーウォッチャー淀川探検企画書 ・2705184年生淀川探検チラシ ・2705184年生淀川探検チラシ地域用 ・リバーウォッチャー淀川探検隊スケジュール表 ・淀川河川レンジャー簡易アンケート(淀川本川版) ・事後学習の為の学習資料・淀川の生き物2枚
関係機関からの支援内容		淀川区市民協働課・・・子どもの安全管理 P T A・・・・・・・・・・見守り はぐくみネット事業・・・見守り・安全サポート
河川レンジャーの活動内容	準備	日程調整、企画書の作成及び提出、現地調査、説明補足の為の資料づくり
	当日	事業の主旨説明、アンケートの配布、学習資料の配布
	事後	アンケートの回収と集計
参加者からの意見		<p>子どもの声 アンケート集約を参考</p> <p>従事者の声（保護者） 体験の少ない子どもたちに良い機会を提供していただいたことに感謝 家庭では出来得ない体験をさせていただいた</p> <p>従事者の声（地域サポーター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの笑顔が輝いていた ・学校で習わない学習が子どもの成長にとって大事で、今日の授業をとおして豊かな心を育ててほしい

36.2 活動状況



・淀川河川レンジャーアドバイザーによる出発前の活動趣旨、注意事項の説明



・淀川の堤防で、淀川の自然等について説明



・十三干潟での生き物観察状況



・十三干潟での生き物観察状況

37. 淀川区防災ジュニアレンジャー研修活動

・平成 27 年 7 月 4 日（土）

37.1 実施状況

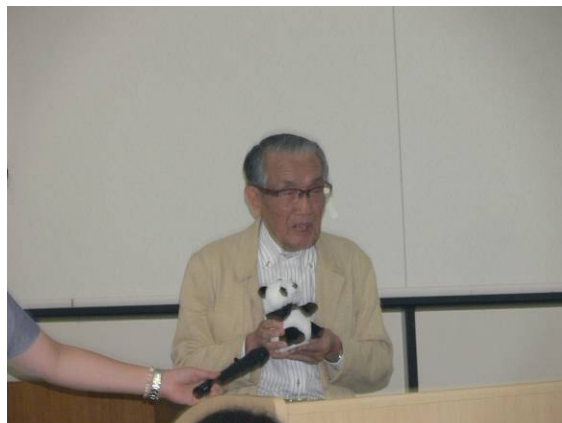
活動名	淀川区防災ジュニアレンジャー研修活動	
活動分野	防災	
氏名	辻川松子河川レンジャーアドバイザー	
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：共催 大阪市青少年国際交流協議会 協力：淀川区役所・中学校校長会)	
活動日時	平成 27 年 7 月 4 日（土） 12：30 ～ 17：05 (会場設営等の準備 11:00～)	
実施場所	(場所) 淀川区役所 5 階会議室 	
参加対象	東三国中学校・三国中学校・十三中学校・大阪市青少年国際交流協議会	
参加人数	参加総数	30 名
	参加者	19 名 大人 7 名、子ども 12 名
	講師	1 名 NPO ブリッジ・フォア・ピース
	スタッフ	4 名 松本・澤井・平子 G レンジャー
	連携団体関係者	3 名 大阪市青少年国際交流協議会 3 名
	府県・市職員	2 名 淀川区市民協働課
	淀川河川事務所	—
	河川レンジャー運営事務局	1 名
スケジュール	12：30	開始：受付準備
	13：00	・辻川河川レンジャーアドバイザーによる活動の趣旨説明及び挨拶
	13：20	・防災に関するビンゴゲーム
	13：20	・「行政が進める防災について」と題し、淀川区役所市民協働課田村氏によるパワーポイントを用いて説明
	14：20	・「河川と私たち」と題して辻川河川レンジャーアドバイザーによるパワーポイントを用いてのお話し
	14：50	・本日の学習会のオリエンテーリング（青少年国際交流協議会による司会者） ・G レンジャー オリエンテーリングの補助
	15：00	・「戦争と平和を考える」と題して、NPO ブリッジ・フォア・ピース 楠山雅彦氏によるパワーポイントを用いて説明
	16：15	・学習会テーマ「私の知りたいこと」「私の知らなかったこと」「私の知っていたこと」についてポストイットに記入
	16：30	・各グループによるテーマの発表
	16：40	・辻川レンジャーアドバイザーによる本日の活動の総括のお話し
	16：45	・全 3 回の活動の第 2 回目の活動予定の説明
	17：00	・活動まとめ
	17：05	終了

配付資料		<ul style="list-style-type: none"> ・淀川防災ジュニアレンジャー研修日程表（第1回） ・河川と私たちの次第 ・GVES YOU WINGS（世界を見る目は変えられる）学習会案内パンフ ・オリエンテーション資料 ・BINGO ゲーム用紙 ・BRIDGE FOR PEACE 案内パンフ ・防災に備えて解説書（淀川区市民協働課編） ・水害ハザードマップ（淀川区） ・みんなで防災意識アップチラシ ・避難所津波避難ビルチラシ ・日ごろから災害に対する「心構え」と「備え」をパンフチラシ
関係機関からの支援内容		物品の提供 淀川区役所・・・備蓄用乾パン・アルファ化米 出前講座 淀川区役所・・・防災講座の実施
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川区6中学校(区内全ての中学校)へ事業説明 ・ 同 じ へ参加要請 ・ 共催者と事業の調整 ・ 協力者である区役所・淀川消防署・淀川区社会福祉協議会・淀川区まちづくりセンター及び共催者の6団体と実施委員会の開催 ・ GRと事業実施に向けて説明及び日程調整 ・ 中央流域センターへ資料提供の依頼 ・ 配布資料の作成 ・ パワーポイント資料の作成
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場設営 ・ GR及び司会者と運営に係わる内容の打合せ ・ 研修参加者へ事業説明 ・ 海外研修者へ補足説明
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書のまとめ ・ 区役所・3中学校へ講座終了の報告
参加者からの意見		保護者の声 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災の基本を教わるとは思わなかった（もっと軽いものかと思った） ・ 多くの中学生に伝えることが大切 Gレンジャーの声 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校で、土木課コースを勉強するものとして良い勉強になった ・ まちづくり（ソフト）を学ぶものと土木（ハード）を学ぶ者が一緒に活動していることに感動している。 ・ 知らないことを知れて、様々な場面で活かしていきたい その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ もっと多くの中学生が係れば、新しいまちづくりに繋がるのではないかな。

37.2 活動状況



・辻川レンジャーアドバイザーによるジュニアレンジャーのビンゴゲーム



・「戦争と平和を考える」と題して、NPOブリッジ・フォア・ピース 楠山雅彦氏による講演



・辻川河川レンジャーアドバイザーによる「河川と私たち」の話し



・ジュニアレンジャーによるワークショップ状況

38. わがまち「防災スクール」

・平成27年9月11日(金)

38.1 実施状況

活動名	わがまち「防災スクール」		
活動分野	防災		
氏名	辻川 松子 (河川レンジャーアドバイザー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：新北野中学校、新北野中学 PTA、淀川区社会福祉協議会、大阪市ボランティア市民活動センター、中学校ブロック厚生保護女性会、大阪市生涯学習推進員)		
活動日時	平成27年9月11日(金)13:30~14:20		
実施場所	大阪市立新北野中学校 体育館 大阪市淀川区新北野 2-13-37		
参加対象	団体(学校) (団体名：新北野中学校)		
参加人数	参加総数	209名	
	参加者	198名	中学1年生
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	8名	新北野中学校教諭
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	2名	淀川河川事務所管理課
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	13:30	開始、担当教諭によるレンジャーアドバイザーの紹介	
	13:35	辻川河川レンジャーアドバイザー講義「自助・共助・公助をもとに災害について考える」	
	14:20	終了	
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	【新北野中学校】 机、プロジェクタ、PC、接続機器		
河川レンジャーの活動内容	準備	・企画書の作成 ・学校と日程調整、打合せ・各機関へ事業内容の周知と協力依頼	
	当日	・会場設営 ・関係者との進め方等の打合せ ・全体の進行	
	事後	・活動報告書の作成 ・各協力者へ事後のお礼	
参加者からの意見	・淀川にはあまりいかないので、よくわからない所があった。 ・津波が来たり、堤防が壊れたときには、高い所に逃げなければならない。		

38.2 活動状況



校長による趣旨説明



活動全景



辻川RAによる講義①



辻川RAによる講義②

○グループ河川レンジャー（上半期）活動報告

（責任者：辻川松子 構成員代表：松本麻里）

39. 平成 27 年度 活動計画

39.1 活動テーマと活動分野

辻川アドバイザーグループ河川レンジャーは、以下の活動目的とテーマのもと、2つの活動を実施します。

グループ河川レンジャーが考える河川の現状と課題

私たちグループ河川レンジャーは活動を通して淀川の素晴らしい自然を感じると共に、地域の住民の皆様の淀川に対する知識の少なさ、親しみの薄さを感じました。淀川の自然を守るためにも淀川区をはじめとする近隣の地域の皆様が淀川を地域のアイデンティティとして親しみをもって守っていく必要があると思います。そのために私たちGRは活動参加につながる企画案の充実を図ることを課題とします。

グループ河川レンジャーとしての活動目的

地域の防災意識の高揚にむけ防災活動と、小学生や中学生を含む市民が川に近づきにくい状況となっている。淀川を地域の人々に小・中学校と連携し淀川の自然の素晴らしさを伝えるとともに、私たちGR自身も防災と自然を守ることの大切さを学びます。更に人と人とのつながりを育み、その和を広げていく活動を目指します。

活動目的を達成するために必要な期間

平成 26 年度事業である平成 27 年 2 月 22 日の清掃活動を最終として、活動の課題を検証し平成 27 年度に繋げて行きたいと考えます。更に企画立案の充実を図るために 2 年 1 期の事業期間といたします。

H27 年度の活動テーマ

自らが日々生活するわがまちの防災・美化・環境問題に係わる活動を目指します。

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名（仮称）
ごみゼロをめざして美しい川をつくろう！	企業・NPOとの協働清掃
	～育て！！ヨシ原は川のゆりかご 淀川河川敷おそうじ～ 淀川区をはじめとした東淀川区・西淀川区対岸の旭区・城東区・都島区・北区・福島区・此花区・大正区が連続性を基に・決められた月日に一斉清掃を実施。
自然を守る活動	干潟で学ぼう！！干潟で遊ぼう！！
「自分の命を守るために」 災害に強いまちづくりに繋げる次世代の育成	防災スクール
	此花区民まつり ブース出展 水没ドアの探検・流れる川の体験

平成 27 年度 年間スケジュール

		活動名（仮称）	活動場所および内容
平成 27 年	4月	12日（土） 10：00～12：00 「清掃活動から学ぶ」	【活動場所】 西中島公園～十三干潟付近 【活動内容】 目的：淀川を知り・学び・ごみゼロを目指す。 対象者：企業社会貢献・・・富士火災 プログラム：GRの企画運営・淀川の自然環境についてレクチャー・ゴミ拾い
	5月	10日（土） 10：00～12：00 「清掃活動から学ぶ」	【活動場所】 西中島公園～十三干潟付近 【活動内容】 目的；淀川を知り・学び・ごみゼロを目指す 対象者：企業社会貢献事業 信利工業＝台湾同郷会＝と協働 プログラム：GRの企画運営・淀川の自然環境についてレクチャー・ゴミ拾い 台湾同郷会の皆さんと淀川沿いを歩いてゴミ拾いをしました。ゴミの多さに驚いていましたが、いい運動になるので台湾でもしてみたいとおっしゃっていました。ゴミ拾いが国際的に広がったと感じました。

	5月	18日(月) 13:15~16:15 リバーウォッチャー「淀川探検隊」	<p>【活動場所】 小学校～十三干潟</p> <p>目的：淀川の宝庫「十三干潟」の自然環境と保護を次世代に伝えるとともに津波について伝える</p> <p>プログラム：地域・淀川区役所と協働 淀川の自然環境についてレクチャー・ゴミ拾い</p> <p>講師：河合典彦先生</p> <p>対象者：野中小学校との連携 小学4年生 57名 運営・サポーター 15名</p> <p>アンケートからの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験が少ない子どもたちにとって良い機会を作って頂いたことに感謝 ・学校だけで出来得ない授業の実施で、児童の「生きる力」を確実にほぐくんでいることを実感しました。 ・見守りをしながら 自分自身が学べて良かった。
	8月	1日(土) 13:00~16:00 「干潟に学ぼう！干潟で遊ぼう！」	<p>【活動場所】 淀川区役所～西淀区役所</p> <p>【活動内容】</p> <p>目的：淀川の宝庫「十三干潟」の自然環境と保護を次世代に伝えるとともに津波について伝える</p> <p>対象者：小学生と子どもに引率する親</p> <p>プログラム：淀川区役所と協働・GRが主体になって企画運営</p> <p>実際に淀川に入ってしじみ取り、投網を体験</p> <p>グループレンジャーは去年もこの企画に参加しており、去年よりスムーズに進行することが出来ました。</p> <p>淀川の自然を体で感じるだけでなく、河合典彦先生の専門的なお話も聞けるので、子供も大人もいろんな面から淀川を知れる素晴らしい企画だと思います。</p>

10月	12日(土) 9:00 ~ 12:00 「防災スクール<大阪市立新北野中学校>」	<p>【活動場所】 大阪市立新北野中学校</p> <p>【活動内容】 目的：体験学習を通して 川と寄り添うくらしから、自分のまちと淀川「自助・共助・公助」について考える *事前学習から学ぶ =川と寄り添う暮らし= もし災害が起きた時あなたは どうしますか!! *体験学習から学ぶ 防災ミニ体育大会 命を守るために「体」で感じて防災意識を「育」てる 対象者：中学1年生 プログラム：新北野中学防災スクールとの連携・土曜日授業を活かした企画運営</p>
10月	日(日) 10:00 ~ 16:00 「流れる川の体験」「水没ドアの体験」&パネル展示」	<p>【活動場所】 西九条コミュニティ広場</p> <p>【活動内容】 目的：防災意識の向上に向けた啓発活動 対象者：区民及び近隣区民 プログラム：比花区民まつりとの連携・大阪湾により近い区であることから多くの市民に災害時の心構えを伝える</p>
11月	日() 14:30 ~ 15:20 「防災スクール<大阪市立十三中学校>P-1」	<p>【活動場所】 大阪市立十三中学校</p> <p>【活動内容】 目的：災害意識の伝達と次世代の育成 対象者：中学1年生 プログラム：十三中学校防災スクールとの連携・淀川の歴史と災害「自助・共助・公助」について</p>
11月	日() 9:00 ~ 12:30 「防災スクール<大阪市立十三中学校>P-2」	<p>【活動場所】 大阪市立十三中学校→河川敷</p> <p>【活動内容】 目的：災害意識の伝達と次世代の育成 対象者：中学1年生 プログラム：十三中学校防災スクールとの連携・体験学習 *災害と防災について *土のう作り *救命体験 *可搬式ポンプの操作</p>

	11月	日 () 14:30 ~ 15:20 「防災スクール<大阪市立十三 中学校>P-3」	<p>【活動場所】 大阪市立十三中学校</p> <p>【活動内容】 目的：災害意識の伝達と次世代の育成 対象者：中学1年生 プログラム：十三中学校防災スクールとの 連携<評会授業> <u>図上訓練と防災マイマップづくり</u></p>
	2月	日 (日) 「清掃活動から学ぶ」	<p>【活動場所】 淀川区役所～西淀川区役所間の下流域河川 敷一帯</p> <p>【活動内容】 目的：淀川を知り・学び・ごみゼロを目指 す 対象者：区役所との協働事業 関心のある 方全て プログラム：GRと区役所の連携・下流域当 該区合同清掃・事前学習会 平成26年11月13日(木) 12:00 ~ 13:00 近大</p>
		研修・その他の活動	随時実行致

39.2 活動実施における共通事項

(1) 参加対象者

淀川区を中心とした、活動を実施する地域やその付近在住の市民や小中高生。また協働企業や団体に所属している方。

(2) 安全対策

参加者自らが体調管理を行い、異変やけがの際にはすぐにスタッフに声をかけられるよう、参加者の中に一定間隔でスタッフを配備する。また、救急セットは保管者、保管場所をスタッフ全員が把握しておく。

干潟での活動の際は、必ず靴を履いてもらい、素足で干潟に入ることのないよう注意喚起する。

熱中症への対策としては、水分補給を欠かさないように声掛けを行う。

緊急連絡先の確認と署管へ事前の連絡を行う。

(3) 広報・募集方法

市報や区役所のホームページへの掲載や、実施地域の小学校でのチラシ配布を依頼し広報・募集をする。

(4) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ等の人数は活動によって異なる。活動の規模や内容、参加者数に対して円滑な運営が行え、かつ安全対策が行える人数を確保する。

(5) 必要支援内容

活動内容により異なるため、実施計画作成時に明確化し、辻川アドバイザー、事務局と調整の上、要請していく。

(6) Gレンジャーが活動において果たす役割

活動の企画と設営や準備、当日の運営並びに進行を行う。

(7) 昨年度の活動体験を踏まえて改善した点（または留意する点）

企画等の会議の回数を増やし、連絡や情報交換の機会を増やし活動の内容を共有する。

(8) 活動を行ううえでの課題等

辻川アドバイザー、事務局と連絡を密にし、早期から準備を行いより充実した内容にすること。また、次世代の構成員を確保し、継続した活動を行える体制を作ること。

■グループ河川レンジャー責任者と構成員

	氏名	所属等
責任者	辻川 松子	河川レンジャーアドバイザー
構成員代表	松本 麻里	近畿大学大学院 1 年
構成員	池田 裕一	近畿大学 3 回生
構成員	河本 真琴	〃
構成員	藤井 泰彰	〃
構成員	池田 慧	近畿大学 2 回生
構成員	山口 智子	〃
構成員	澤井 海美	大阪府立大学工業高等専門学校 4 年生
構成員	加藤 沙弓	〃
構成員	平子 遼	〃

40. 親子リバースクール

・平成 27 年 8 月 1 日(土)

40.1 実施状況

活動名	親子リバースクール「干潟で学ぼう！干潟で遊ぼう！」		
活動分野	自然観察		
氏名	辻川河川レンジャーアドバイザーグループ河川レンジャー ・松本 麻里 G レンジャー [代表] ・池田 裕一 G レンジャー ・池田 慧 G レンジャー ・藤井 泰彰 G レンジャー ・山口 智子 G レンジャー ・平子 遼 G レンジャー ・澤井 海美 G レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：淀川区役所)		
活動日時	平成 27 年 8 月 1 日(土) 13:00~16:00		
実施場所	淀川河川公園 十三野草地区、十三干潟 		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	90 名	
	参加者	81 名	大人 35 名、子ども 46 名
	講師	1 名	河合 典彦 (淀川環境委員会水域部会長／ 福島・毛馬管内運営会議代表者)
	スタッフ	2 名	堀内 氏 (大阪市地域活動協議会)、西岡 河川レンジャー
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	5 名	淀川区役所
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	13:00	開始	・河川レンジャー挨拶 (G レンジャーについて、自己紹介)、活動趣旨説明、活動時の注意事項説明 ・淀川区役所挨拶

		13:10 十三干潟の解説、川の指標生物クイズ出題 13:20 参加者干潟観察準備、グループ分け 13:35 十三干潟へ移動 14:00 観察開始 ・干潟の生き物の採取など自然観察 ・講師による投網での生き物捕獲実演 15:00 観察終了、会場テントへ移動 15:15 活動のまとめ ・川の指標生物クイズ回答 ・講師による捕獲した干潟の生き物解説 16:00 終了
配付資料		冊子「ストップ！河川水難事故」、「水辺の安全ハンドブック」、 「川の生きものを調べよう」 資料「芥川はどんな川？」、「川のすがたと指標生物」、 「芥川にくらす身近な魚たち」、「川の安全利用啓発チラシ」、 「過去の芥川での水難事故新聞記事」 案内「酒井レンジャー活動案内（11/2y2 予定）」、 「原レンジャー活動案内（9/27 予定）」
関係機関からの支援内容		○淀川区役所 活動備品の貸与（机、イス、養生用ブルーシート 他）、活動時の安全管理 淀川河川事務所からの自然観察備品等の一時保管・運搬 ○淀川河川事務所 資料印刷・提供、自然観察備品の貸与（スローロープ、水槽、たも網 他）、 資材運搬 ○淀川河川公園事務所 テントの貸与（運搬含む）
河川レン ジャーの 活動内容	準備	現地下見、関係機関との実施に向けた支援依頼・調整、実施計画作成、スタッフとの運営に向けた打合せ、川の指標生物クイズフリップ製作、その他連絡調整
	当日	淀川区役所から活動備品運搬、会場設営、スタッフ打合せ、運営（安全管理含む）
	事後	準備物の後片付け、活動報告まとめ
参加者からの意見		○十三に干潟があることは知っていたが、初めて足を踏み入れた。ぬかるみに足を取られ、移動に苦労した。 ○子供に淀川の環境に触れる良い機会となった。自身も初めての体験で勉強になった。 ○学生の G レンジャーさん、企画から当日の運営までお疲れ様でした。淀川の環境を学ぶ手づくりのパネル、良かったです。

40.2 活動状況



活動に向けて準備した、グループ河川レンジャー自作のフリップを用いた川の指標生物クイズ



干潟の自然観察実施状況



干潟の自然観察実施状況



講師による捕獲した干潟の生き物について解説

41. わがまち「防災スクール」防災ミニ体育大会

・平成27年9月12日(土)

41.1 実施状況

活動名	わがまち「防災スクール」防災ミニ体育大会		
活動分野	防災		
氏名	辻川 松子 (グループ河川レンジャー) 松本 麻里 (グループ河川レンジャー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名:新北野中学校、新北野中学PTA、淀川区社会福祉協議会、大阪市ボランティア市民活動センター、中学校ブロック厚生保護女性会、大阪市生涯学習推進員)		
活動日時	平成27年9月12日(土)9:00~11:45		
実施場所	大阪市立新北野中学校 大阪市淀川区新北野 2-13-37		
参加対象	団体(学校) (団体名:新北野中学校)		
参加人数	参加総数	234名	
	参加者	203名	中学1年生 198名 一般 5名
	講師	—	
	スタッフ	18名	新北野中学PTA、淀川区社会福祉協議会、大阪市ボランティア市民活動センター、中学校ブロック厚生保護女性会 大阪市生涯学習推進員、一般ボランティア
	連携団体関係者	12名	新北野中学校教諭
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	開会挨拶	
	9:05	辻川GRによる趣旨説明	
	9:15	クラス毎に編成したチームで、各コーナーにて体験開始 ①水没ドア体験 (水没したドアを開けることで水圧を体感) ②水害体験 (浸水した市街地を歩く疑似体験) ③土のう作成 (3人1組で土のうを作成。クラス対抗でリレーを行う) ④車椅子救助体験 (災害時の介助体験として、1名が車椅子に乗り、2名が誘導し、クラス対抗でリレーを行う) ⑤救助体験 (6人1組で災害時のけが人等救助体験として、簡易担架を使い、1名がけが人、5名が救助する側の役割分担で、クラス対抗でリレーを行う) ⑥視覚障害者介助体験 (3人1組で災害時の視覚障害者介助体験として、1名がアイマスクを着用して視覚障害者、2名がその介助者として、クラス対抗でリレーを行う) ⑦災害対応カードゲーム「クロスロード」体験 (災害時に直面する、同時多発的な想定外の問題への対応をゲーム形式で体験。災害発生時に避難所へ愛犬をとまなうか等の質問に対してYES/NOを選択し、その理由等を全員で議論する)	
	11:30	校長による講評、松本GRによるまとめ	
	11:45	終了	
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	【淀川河川事務所】 ・水害体験施設の出勤		

河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・企画書の作成 ・学校と日程調整、打合せ ・淀川河川事務所と水害体験施設の出動依頼、打合せ ・各機関へ事業内容の周知と協力依頼
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・会場設営 ・関係者との進め方等の打合せ ・全体の進行
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告書の作成 ・各協力者へ事後のお礼 ・アンケートの整理
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・目が見えない状況はとても不安だ ・国土交通省が淀川の管理をしていることを初めて知った。 ・浸水した町を逃げるときは、手ぶらだと危ない。 ・浸水した道路で、どうして車から逃げられないのかわからなかったが、今回の体験でよくわかった。ドアが重くてなかなかあかない。

41.2 活動状況



コーナー毎に担当より内容を説明し、実施



活動全景



水害体験



校長による講評

○西岡河川レンジャー・三輪河川レンジャー・玉井河川レンジャー連携活動

42. 淀川の治水・防災展

・平成 27 年 6 月 30 日(火)～7 月 6 日(月)

42.1 実施状況

活動名	淀川の自然と文化「治水・防災展」		
活動分野	防災、環境保全		
氏名	西岡 和昭（福嶋出張所管内河川レンジャー） 三輪 栄子（毛馬出張所管内河川レンジャー） 玉井 理恵（枚方出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：寝屋川市ふれあいプラザ香里)		
活動日時	平成 27 年 6 月 30 日(火)～7 月 6 日(月)		
実施場所	寝屋川市立ふれあいプラザ香里：寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店 1F		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	112 名	体験参加者のみ
	参加者	67 名	6 月 30 日 大人 4 名、子ども 0 名 (展示見学 8 名)
			7 月 1 日 大人 11 名、子ども 0 名 (23 名)
			7 月 2 日 大人 17 名、子ども 0 名 (26 名)
			7 月 3 日 大人 11 名、子ども 0 名 (26 名)
			7 月 4 日 大人 5 名、子ども 5 名 (27 名)
			7 月 5 日 大人 7 名、子ども 5 名 (32 名)
			7 月 6 日 大人 2 名、子ども 0 名 (6 名)
	講師	5 名	1 日玉井 R
			2 日大阪府枚方土木事務所地域支援防災グループ 前多
3 日防災エキスパート松永正光氏			
4 日三輪 R			
5 日西岡 R			
スタッフ	14 名	1 日三輪 R、馬場氏（ふれあいプラザ香里）	
		2 日大阪府 2 名 ブリッジこだま（防災朗読）9 名	
		3 日三輪 R、玉井 R、	
		4 日玉井 R、佐藤氏（TEAM 魚っしょい!）	
		5 日三輪 R、山口 R、玉井 R	
連携団体関係者	16 名	ふれあいプラザ香里、TEAM 魚っしょい! 淀川資料館	
府県・市職員	3 名	7 月 2 日大阪府枚方土木事務所 3 名	
淀川河川事務所	6 名	6 月 30 日枚方出張所 2 名、6 月 30 日、7 月 6 日毛馬出張所 2 名	
河川レンジャー運営事務局	1 名	(7 月 5 日)	
スケジュール	6 月 30 日(初日)展示のみ 会場設営、パネル・土嚢設置 ケーブル TV 取材		
	7 月 1 日 玉井 R 活動 映像と解説「最近の寝屋川市域の集中豪雨と水防情報」 参加者とフリートーク「ハザードマップの見方」など 展示解説 玉井 R、三輪 R 写真・記録 三輪 R		
	7 月 2 日 治水・防災情報と防災朗読会 話題提供「北河内の治水対策について」と備蓄非常食の実演(大阪府枚方土木事務所) 防災朗読会「台風がきたぞ」「家族」「いなむらの火」ほか(ブリッジこだま) 写真・記録 玉井 R		
	7 月 3 日 まつ永正光氏 講演会 「過去の水害に学ぶ」映像と解説 参加者 土嚢作り、土嚢積み体験 展示パネル解説 参加者とフリートーク 写真・記録・土嚢作り 玉井 R 三輪 R		

		<p><u>7月4日 三輪R活動</u> やさしい防災、地震と津波のおはなし 紙芝居「まだだよ」「稲村の火」4回公演 子供達と土嚢作り、タコ槌を使って土嚢積み練習 解説「江戸時代以降の東南海・南海地震について」 両川口津波記、擁護爾碑文解説 記録・写真玉井R</p> <p><u>7月5日 西岡R活動</u> 昆虫切り絵指導 レンジャーと土のう砂入れ体験、結束体験土のうによる洪水防御の話 展示人形 中島大水道のおはなし レンジャー劇団公演「コント淀川さん」 脚本・演出 西岡R 出演 玉井R、山口R 記録・写真 三輪R 西岡Rによる淀川のお話</p> <p>連日パネル解説、来館者対応は17時まで、パネルの展示は8時まで行った 17時 レンジャー4名 反省会 19時 翌日の搬出タイムスケジュール確認</p> <p><u>7月6日(最終日)</u> 午前 展示 午後 会場片付け 三輪 搬出 土嚢等、点野流域センターへ 玉井、西岡 パネル 枚方出張所へ(翌日搬送のため保管) 紙芝居、大型枠 津波高潮Sへ(毛馬出張所 萩野谷係長) プロジェクター、スクリーン 寝屋川市役所へ玉井、西岡 展示人形、展示切り絵 搬出 西岡R</p>
	配布資料	<p>●河川レンジャーNews32号、●防災グッズのチェック表 ●「洪水リスク」を知り、みずから守る。リーフレット(大阪府) ●テレビで川の水位がわかります！リーフレット(大阪府) ●水防技術冊子 7月2日のみ ●防災朗読会プログラムおよび資料</p>
	関係機関からの支援内容	<p>【枚方出張所】土嚢提供(搬送)、土嚢袋、ブルーシート 【毛馬出張所】物品搬送 【レンジャー事務局】HP掲載、資料印刷、レンジャーの防災活動紹介パネル、フリーマイク貸与、広報物・資料印刷、問い合わせ対応 【淀川資料館】展示パネル 【津波高潮ステーション】紙芝居・大型枠 【大阪府枚方土木事務所】災害用備蓄食アルファ化米炊き出しセット、配布資料提供 【寝屋川市】プロジェクター、スクリーン、広報6月15日号掲載 【TEAM魚っしょい！】紙芝居指導 【ふれあいプラザ香里】搬入・搬出時のサポート、非常持ち出し見本</p>
河川レンジャーの活動内容	準備	<p>三輪R 淀川資料館パネル選定、地震津波資料、淀川台風被害写真、津波高潮S資料 西岡R コント「淀川さん(治水・防災編)」脚本作成、展示用切り絵作成、中島大水道由来作成、展示用人形の使用を調整(西中島小学校) 玉井R 協力団体・講師・スタッフとの調整、広報活動(チラシ・ポスター作成、配布・掲示)、物品手配、土嚢、物品搬送</p>
	当日	<p>会場設営、講師・演者対応、会場案内・解説、記録、運営全般 詳細前述</p>
	後日	<p>各レンジャーで物品、資料返却など 総括、今後の展開について検討、協力団体、関係機関への報告 反響(公演依頼など)対応</p>

<p>参加者の意見</p>	<p>【展示や体験コーナーについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水のすごさがよく分かった ●最近の集中豪雨はこわい。どうなってしまったのか？ ●ゲリラ豪雨とはよく名づけたものだ ●土嚢づくりがよかった ●災害への備えを心掛けたいと思っているが、何をすればいいのかわからない ●非常持ち出しセットうちにもあるが一度も使っていない。(保存食は)もう期限も切れているだろう。常備薬や市販のものにオリジナルを足していくことなど教えてもらいよかった。 <p>【講演・話題提供など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●寝屋川(市)の地域が土地が低い場所にあることがよく分かった ●これから治水や防災について情報を知るよう心掛けたい ●一昨年初めて来て勉強になった。去年は用事がありこれなかったが今年は広報をみて、必ず行こうと思った。 ●治水・防災の様子が詳しくわかりました。 ●(「家庭でできる浸水対策」の説明を聞いて)新聞紙とっとなかなかんわ ●大阪府は深北緑地のことはイベント案内などあるが打上川治水緑地はないのか？ ●地下河川にことは初めて知った ●今住んでいるところがよく漬かるので、家を探している。ちょうどいい物件を見つけているのだが、ハザードマップを見るとそこもダメみたい。 ●河川レンジャーなんてあるの？知らなかった。こんないいことなってるのに。 ●出前講座のようなこともやってくれますか？ <p>【コント淀川さん(治水・防災編)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コント面白かった。レンジャーさんて何でもしはるんやね ●うちの施設(障がい者自立支援施設)にも来てなにかやってほしい ●劇中で展示物とリンクさせたのは良かった
---------------	---

42.2 活動状況



(7月1日)レンジャーの「最近の寝屋川市域の集中豪雨と水防情報」解説



(7月3日)講師による「過去の水害に学ぶ」講義



(7月4日)レンジャーのやさしい防災のお話



レンジャー作演出のコント淀川さん上演

